館林市強靱化計画の進捗管理について

標記について、本計画の進捗状況等を取りまとめ、下記のとおり報告します。

記

1 内 容

本計画の推進にあたっては、毎年度P D C Aサイクルによる検証を行い、必要に応じて計画の見直しを図ることとしています。そのためにK P I（重要業績指標）の達成度やアクションプランの進捗状況を確認し、本計画の進捗管理を実施します。

(1) K P I（重要業績指標、20項目）の達成度

達成度	R 6. 3月末時点	R 7. 3月末時点
A	11	12
B	2	1
C	5	5
D	2	2

【進捗率】

(最新値－計画策定時値) / (年次目標値－計画策定時値)

【達成度】

- A 進捗率 100%以上
- B 進捗率 80～99%
- C 進捗率 50～79%
- D 進捗率 50%未満

(2) アクションプラン（151事業）の進捗状況

事業区分	A	B	C	計
①環境・安全	2	37	7	46
②福祉	-	4	-	4
③健康	1	9	-	10
④子育て	-	2	-	2
⑤学び	2	11	-	13
⑥都市	5	23	8	36
⑦産業	-	21	2	23
⑧行政機能	-	16	1	17
合 計	10	123	18	151

【進捗状況】

- A 事業目標を大きく上回ったもの
- B 事業目標を概ね達成したもの
- C 事業目標を下回ってしまったもの

2 対応

今回の結果については、今後、本市強靱化計画を見直すための基礎資料とします。また、各所管においては、引き続き各指標及び事業進捗の目標達成に向けて取り組むものとしてします。

3 周知方法

KPI（重要業績指標、20項目）の達成度及びアクションプラン（151事業）の進捗状況については、市ホームページにて公表するほか、グループウェアの安全安心課の文書管理に掲載します。

(1)KPI(重要業績指標)の達成度

事前に備えるべき目標	No.	重要業績指標	担当課	基準値		R6時点報告値				目標値	
				数値	年度	数値	年度	進捗 (%)	達成度	数値	年度
1 直接死を最大限防ぐ	1	住宅の耐震化率	建築課	82.10%	2016	87.65%	2023	42.7%	C	95.00%	2025
	2	多数の者が利用する建築物の耐震化率	建築課	88.20%	2016	92.09%	2022	57.2%	C	95.00%	2025
	3	土地区画整理完了率	区画整理課	54.20%	2016	55.20%	2023	58.0%	C	62.80%	2027
	4	自主防災組織の組織率	安全安心課	90.90%	2018	93.39%	2023	27.4%	D	100.00%	2025
	5	住宅火災警報器の設置率	館林地区消防組合	49.50%	2019	71.00%	2023	65.5%	C	82.30%	2024
	6	河川整備計画に基づく河川整備延長	道路河川課	7.187km	2018	7,268km	2023	100.0%	A	7.268km	2022
2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	7	小中学校への防災倉庫の設置	安全安心課	80.00%	2018	100.00%	2021	100.0%	A	100.00%	2021
	8	受援・応援計画の策定	安全安心課	未策定	2018	策定	2021	100.0%	A	策定	2020
	9	予防接種法に基づく予防接種（麻しん、風しんワクチンの接種率）	健康推進課	96.90%	2018	96.30%	2023	100.0%	A	95%以上	毎年
		95.60%	97.81%								
3 必要不可欠な行政機能は確保する	10	業務継続計画（BCP）の策定	安全安心課	未策定	2018	策定	2020	100.0%	A	策定	2020
4 必要不可欠な情報伝達機能は確保する	11	新たな情報伝達手段の導入	安全安心課	検討	2018	導入	2021	100.0%	A	導入	2021
5 経済活動を機能不全に陥らせない	12	再生可能エネルギー導入量	地球環境課	35,389kw	2018	52364	2023	110.0%	A	50,812kw	2023
6 生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る	13	下水道水洗化率	下水道課	88.90%	2018	91.60%	2023	100.0%	A	90.10%	2024
7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	14	空間放射線量の測定	地球環境課	年4回・14地点	2018	年1回・9地点	2023	100.0%	A	年2回・14地点	平常時
	15	基盤整備率（水田・畑）	ほ場整備課	23.00%	2017	26.20%	2022	40.0%	D	31.00%	2027
	16	多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数	ほ場整備課	19	2019	25	2023	600.0%	A	20	2024
8 地域社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で再建・回復できる条件を整備する	17	職員の被災宅地危険度判定士登録者数	都市計画課	35名	2018	44名	2023	107.0%	A	維持	2024
	18	職員の被災建築物応急危険度判定士登録者数	建築課	13名	2019	12名	2023	92.3%	B	維持	2024
	19	文化施設における年間利用者数	文化振興課	204,994	2017	109,930	2023	-	C	200,000	2020
	20	地籍調査の進捗率	都市計画課	16.20%	2018	19.60%	2023	89.5%	B	20.00%	2028

R7.3時点（最新値）			
数値	年度	進捗 (%)	達成度
87.90%	2024	45.0%	C
92.09%	2024	57.2%	C
56.19%	2024	58.0%	C
93.39%	2024	27.4%	D
71.00%	2024	65.5%	C
7.268km	2024	100.0%	A
100.00%	2021	100.0%	A
策定	2021	100.0%	A
101.44%	2024	100.0%	A
97.14%			
策定	2020	100.0%	A
導入	2021	100.0%	A
53,406	2024	116.8%	A
92.00%	2024	100.0%	A
年1回・9地点	2024	100.0%	A
26.30%	2023	41.3%	D
29	2024	1000.0%	A
44名	2024	107.0%	A
13名	2024	100.0%	A
101,257	2024	-	C
19.90%	2024	97.4%	B

(2) アクションプランの進捗状況

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連事象	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまったもの	③ R7アクションプラン	備考	
1	①環境・安全	空家対策関係事業（予防対策）	建築課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1, 8-2	第2期館林市空家等対策計画に基づき、空き家の除却を促進することで、地域の住環境改善を図る。	住民からの連絡等に基づき、関係各課と連携し、必要に応じて所有者へ適正管理の通知を送付している。また、市空家等対策協議会を開催し要注意空家について現状報告を行った。	引き続き関係各課と連携し、必要に応じて所有者へ適正管理の通知等を送付することで、空き家の発生抑制に努める。	住民からの連絡等に基づき、関係各課と連携し、必要に応じて所有者へ適正管理の通知を送付している。また、市空家等対策協議会を開催し要注意空家について現状報告を行った。	B	適正管理通知の送付	引き続き関係各課と連携し、必要に応じて所有者へ適正管理の通知等を送付することで、空き家の発生抑制に努める。	【重要事業】館林市第6次総合計画
2	①環境・安全	防災備蓄事業	安全安心課	2-1	館林市地域防災計画に基づき、備蓄倉庫を整備し、食料や防災資機材等を備蓄する。	計画に沿って備蓄品の整備、入れ替え、補充を行った。要配慮者向けとして、乳児用の粉ミルク、液体ミルクの購入を行った。	順次備蓄倉庫・備蓄品の整備・入れ替え、補充を行う。	計画に沿って備蓄品の整備、入れ替え、補充を行った。要配慮者向けとして、乳児用の粉ミルク、液体ミルクの購入を行った。	B	計画通り、備蓄品の整備、入れ替えを行った。	順次備蓄倉庫・備蓄品の整備・入れ替え、補充を行う。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】小中学校への防災倉庫の設置
3	①環境・安全	総合防災訓練事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3, 5-1, 6-1, 7-1	館林市地域防災計画に基づき、防災関係機関等と連携し、市民や団体等の参加を得て、隔年で総合防災訓練を実施する。	令和4年度は市総合防災訓練を実施。関係機関との連携、図上訓練、避難所運営訓練を主目的とし訓練を行った。令和5年度は開催年ではないため、実施は無し	劇場型と実践型の訓練の実施が必要	令和6年10月4日に館林城ゆめひろばにて、館林市総合防災訓練を実施した。	B	訓練をととして、災害時関係機関との連携を確認	劇場型と実践型の訓練の実施が必要	
4	①環境・安全	避難所及び緊急避難場所標識設置・更新事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3	指定避難所兼緊急避難場所及び緊急避難場所への標識の設置及び更新を行う。	指定避難所兼緊急避難場所及び緊急避難場所への標識が劣化したため、順次計画に沿って標識の設置・更新を行った。	順次標識の設置・更新を行っていく。	部材が劣化した標識、新JIS規格未対応の標識があるため、順次計画に沿って標識の設置・更新を行った。	B	計画通り、市内4か所の撤去・新設を行った。	順次標識の設置・更新を行っていく。	
5	①環境・安全	防災協定締結推進事業	安全安心課	2-1, 3-1	災害時に関係機関（企業・自治体等）の協力を得て、応急・復旧対策ができるように防災協定を締結する。	各地で起こる災害の教訓を踏まえ、協定の内容を検討したうえで、協定締結数及びその種類を増加した。あわせて締結した協定が機能するように平時から連絡体制を充実させた。	協定数を増加する。既存協定先との連絡体制等を充実させる。	各地で起こる災害の教訓を踏まえ、協定の内容を検討したうえで、協定締結数及びその種類を増加した。あわせて締結した協定が機能するように平時から連絡体制を充実させた。	B	1団体との防災協定を締結した。	協定数を増加する。既存協定先との連絡体制等を充実させる。	
6	①環境・安全	避難確保計画策定支援事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3	浸水想定区域内の要配慮者利用施設の避難確保計画策定を支援する。	対象施設の増減を反映し、未提出の事業所には計画の提出を促した。令和6年3月時点の策定数は154/154である。	新たな対象施設に対し、支援を行う。	対象施設の増減を反映し、未提出の事業所には計画の提出を促した。令和7年3月時点の策定数は158/159である。	B	令和6年度中に作成支援中の1件を除き、すべての事業所から提出があった。	新たな対象施設に対し、支援を行う。	
7	①環境・安全	自主防災組織活動支援事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 2-5, 4-1	自主防災組織の設立を支援し、活動を促進するために補助金を交付する。	自主防災組織の組織数は66行政区中62行政区で約94%である。	自主防災組織が未設立の行政区への設立を打診し、支援を実施する。	新たに自主防災組織を設立した行政区はなかったが、希望する自主防災組織に対して補助金の交付や訓練の補助等の支援を実施した。	B	希望する自主防災組織に対して、希望どおりの補助金を交付したことで、地域の防災力向上に寄与	自主防災組織が未設立の行政区への設立を打診し、支援を実施する。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】自主防災組織の組織率
8	①環境・安全	たてばやし防災情報伝達システム事業	安全安心課	4-1, 8-5	たてばやし防災情報伝達システムの運用により、情報伝達手段の多様化を図る。	たてばやし防災情報伝達システムによる、スマートフォンアプリ、メール、個別受信機、電話、スピーカーを用いた情報伝達を整備し、伝達を行った。	たてばやし防災情報伝達システムにより多様な手段で伝達を行う。	新システム（たてばやし防災情報伝達システム）による、スマートフォンアプリ、メール、戸別受信機、電話、スピーカーを用いた情報伝達を整備し、伝達を行った。	B	たてばやし情報伝達システムにより、防災・防犯に関する情報配信を実施した。登録者数9,584件（令和7年4月1日現在）	たてばやし防災情報伝達システムにより多様な手段で伝達を行う。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】新たな情報伝達手段の導入
9	①環境・安全	広域防災拠点事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3, 2-2, 7-1	広域防災拠点の整備事業は完了し、引き続き緊急避難場所及び自主防災組織や消防等の訓練の実施場所としての維持を行う。	水防工法等の消防訓練に使用したほか、除草作業を行った。	消防訓練に使用し、拠点の維持管理を行う。	水防工法等の消防訓練に使用したほか、除草作業を実施した。	B	有事の際の避難場所の一つとして、定期的な整備を実施	消防訓練に使用し、拠点の維持管理を行う。	
10	①環境・安全	防災普及・啓発事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 2-5, 4-1	館林市地域防災計画に基づき、市民等に対して防災知識の普及・啓発を実施する。	防災出前講座回数：27回 防災啓発広報実施回数：1回 学校等における防災訓練の実施回数：19回	学校から地域、家庭への防災意識の向上が図れるよう、子どもへの防災教育に取り組み、より実践的な内容を実施する。	防災出前講座回数：12回 防災啓発広報実施回数：1回 学校等における防災訓練の実施回数：15回	B	出前講座や防災教育等の希望に沿った講座を実施	学校から地域、家庭への防災意識の向上が図れるよう、子どもへの防災教育に取り組み、より実践的な内容を実施する。	【重要事業】館林市第6次総合計画
11	①環境・安全	物資集積拠点整備事業	安全安心課	2-1	館林市地域防災計画に基づき、災害時の物資受け入れや配布を効率化するため、防災関係機関と連携して物資集積拠点を整備する。	災害時に備え、物資集積に関連する協定締結先の担当者との意見交換を行った。	協定の拡充及び運営マニュアルの作成、訓練を実施する。	訓練を通じて連携を深めた	B	隔年の訓練を通じて、今後も関係性を深めていく	協定の拡充及び運営マニュアルの作成、訓練を実施する。	
12	①環境・安全	福祉避難所整備事業	安全安心課	2-3, 2-5	館林市地域防災計画に基づき、想定避難者数を収容できるだけの福祉避難所を指定し、平時から周知を行う。	福祉避難所のマニュアル作りには着手しているが、策定に至らなかった。	福祉避難所の指定数の検討並びに関係機関との連携を行う。	福祉避難所のマニュアル作りには着手しているが、策定に至らなかった。	C	福祉避難所の関係者と具体的なマニュアル作成について協議が進まなかった。	福祉避難所の指定数の検討並びに関係機関との連携を行う。	
13	①環境・安全	避難行動要支援者対策事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3	地区防災計画を策定している地区において、共助による避難行動要支援者の避難・見守り支援に取り組む。	個別避難計画の取組みのなかで、避難行動要支援者の避難時支援を行う支援者を選定した。	地区防災計画策定支援並びに個別避難計画作成の取組みを拡大し、避難体制の構築を推進していく。	個別避難計画の取組みのなかで、避難行動要支援者の避難時支援を行う支援者を選定した。	B	地区防災計画を新たに策定した地区はなかった。引き続き、地区防災計画策定の支援及び個別避難計画の取組み内での拡充を図る。	地区防災計画策定支援並びに個別避難計画作成の取組みを拡大し、避難体制の構築を推進していく。	
14	①環境・安全	防災行政無線等整備・維持事業	安全安心課	3-1, 4-1	館林市地域防災計画に基づき、災害時における防災情報の情報伝達手段の確保並びに住民への伝達体制の多様化を図る。	自主避難所の設置や災害時の避難情報など適宜情報の発信を行っている。	防災情報伝達システムの普及啓発を行い、住民が個々に適した手段から情報を得られるようにする。	自主避難所の設置や災害時の避難情報など適宜情報の発信を行っている。	B	防災情報伝達システムの運用開始並びに普及啓発を行い、住民が個々に適した手段から情報を得られるようにした。	防災情報伝達システムの普及啓発を行い、住民が個々に適した手段から情報を得られるようにする。	
15	①環境・安全	受援・応援計画事業	安全安心課	2-1, 3-1, 8-2	平常時から事業の優先順位と他県市からの職員受け入れの体制を決めておくための館林市災害時受援計画の見直しを行う。	策定した館林市災害時受援計画について見直しを行う。	受援・応援体制の整備	策定した館林市災害時受援計画について見直しを行う。	B	内容及び担当者の見直しを行った。	受援・応援体制の整備	【KPI】受援・応援計画の策定
16	①環境・安全	防災協力井戸管理・普及事業	安全安心課	2-1	災害時における共助の一環として、防災協力井戸の管理並びに普及を行う。	防災井戸について出前講座等で周知を行った。	現況確認を継続して実施する。	1つの地区で共用井戸を整備した。	B	自主防災組織の補助金を活用し、地区用の共用井戸として地区主体で整備	現況確認を継続して実施する。	
17	①環境・安全	避難情報の発令体制整備事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	気象情報や河川水位等を活用した避難情報の具体的な発令基準を策定し、適時適切に避難情報が発令されるよう、訓練を実施する。	システムを用いた伝達訓練を実施した。中小河川の発令基準について定めた。	伝達手段の複線化、伝達訓練を適宜実施する。	システムを用いた訓練を実施した。	B	継続した訓練を実施することで、実際に発令した際の発令に寄与することができた。	伝達手段の複線化、伝達訓練を適宜実施する。	
18	①環境・安全	避難誘導体制整備事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3	災害対策基本法に基づき災害種別に応じた指定緊急避難場所の指定、及び指定避難所の指定を行い、指定緊急避難場所及び指定避難所の周知や避難に対する理解を促進する。	指定緊急避難場所・指定避難所とも指定済み。HP、ハザードブックの出前講座による周知を実施した。	避難所開設の具体的な方針決め、洪水時の広域避難体制の整備を行う。	指定緊急避難場所・指定避難所とも指定済み。HP、ハザードブックの出前講座による周知を実施した。	B	避難情報に関する周知を実施した。	避難所開設の具体的な方針決め、洪水時の広域避難体制の整備を行う。	
19	①環境・安全	公共交通整備事業	安全安心課	6-4	館林都市圏地域公共交通計画に基づき、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組み、交通事業者に対し補助金の交付等を行う。	・館林都市圏地域公共交通計画に基づき「多々良北線」、「細谷大島線（東西）」の運行を開始した。 ・バスロケーションシステム運用と周知を図った。 ・デジタルサイネージを運用した。	・公共路線バス運行費補助 ・「速瀬巡回線」の路線変更 ・バスロケーションシステム運用と周知 ・デジタルサイネージ運用	・館林都市圏地域公共交通計画に基づき「渡瀬巡回線」の路線変更を実施した。 ・バスロケーションシステム運用と周知を図った。 ・デジタルサイネージを運用した。	B	バス利用者や運転士への聞き取りや沿線住民との意見交換会・試乗会を実施することで様々な要望を路線及びダイヤに取り入れた。	・第2次館林都市圏地域公共交通計画の策定 ・公共路線バス運行費補助 ・バスロケーションシステム運用と周知 ・デジタルサイネージ運用	【重要事業】館林市第6次総合計画
20	①環境・安全	感震ブレーカー等設置費補助事業	安全安心課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1, 7-1	地震発生時における電気起因する住宅からの火災を防止するため、感震ブレーカー等を新たに購入し、その居住する住宅に設置する者に補助金を交付する。	令和5年度実績35件	引き続き普及啓発に努める。	令和6年度実績26件	B	市役所、事業者、市民の三者が一体となり事業を進めることができた。	引き続き普及啓発に努める。	【重要事業】館林市第6次総合計画
21	①環境・安全	防災情報の多言語化事業	安全安心課	1-1, 1-2, 4-1	市内居住の外国人が災害時に即時に行動が出来るように、館林市ハザードブックを4か国語（英語、中国語、ベトナム語、ミャンマー語）に翻訳する。	令和4年度に改定したハザードブックを4か国語（英語、中国語、ミャンマー語、ベトナム語）に翻訳した。	改訂後のハザードブックを4か国語に翻訳し、活用を推進していく。	ハザードブックを4か国語（英語、中国語、ミャンマー語、ベトナム語）をHPで公開し、引き続き周知に努めた。	B	改訂後のハザードブックを4か国語に翻訳し、活用を推進していく。	改訂後のハザードブックを4か国語に翻訳し、活用を推進していく。	【重要事業】館林市第6次総合計画
22	①環境・安全	災害時の燃料確保事業	安全安心課	2-2, 2-3	災害時における県協定による供給体制のほか、市内燃料販売店等との供給体制を構築する。	災害対策本部体制における燃料担当の産業政策課と公用車担当の財政課へ、県の供給体制「災害時における燃料対策の手引き」の情報共有を行った。	燃料の供給について、市公用車へ優先的に給油を受けることができるように意識共有をしておく。	災害対策本部体制における燃料担当の産業政策課と公用車担当の財政課へ、県の供給体制「災害時における燃料対策の手引き」の情報共有を行った。	B	継続した情報共有を実施した	燃料の供給について、市公用車へ優先的に給油を受けることができるように意識共有をしておく。	
23	①環境・安全	業務継続計画（BCP）策定・推進事業	安全安心課	3-1	災害時において、人、物、情報等の資源が制約を受ける場合でも、緊急かつ重要な非常時優先業務を行えるよう、その対策を事前に準備する。	各課の課題を明らかにする取組みを行っていない。	「館林市業務継続計画（大規模災害編）」の策定により明らかとなった課題の解決に向け体制を整備していく。	各課の課題を明らかにする取組みを行っていない。	C	各課との調整が進まず、訓練を実施することができなかった。	「館林市業務継続計画（大規模災害編）」の策定により明らかとなった課題の解決に向け体制を整備していく。	【KPI】業務継続計画（BCP）の策定
24	①環境・安全	空間放射線量測定事業	地球環境課	7-3	市内全域において測定を行い、空間放射線量を的確に把握する。	令和5年度の測定結果においても、基準値を大きく下回っている。	年1回9地点での測定を実施する。	令和6年度の測定結果においても、基準値を大きく下回っている。	B	令和3年度までは年2回14地点において測定を実施していたが、県実施計画改定のため令和4年度は年1回14地点、令和5年度以降は年1回9地点での測定となった。いずれも結果は基準値を大きく下回っている。	令和6年度の測定結果においても、基準値を大きく下回っている。	【KPI】空間放射線量の測定
25	①環境・安全	地球温暖化対策事業	地球環境課	2-5	第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、再生可能エネルギー・省エネルギー対策を推進するとともに、本市の気温や暑さ指数を広く周知し、暑さ対策・熱中症予防について啓発を行う。	・温室効果ガス削減については、目標未達成。 ・再生可能エネルギー・省エネルギー対策の研究調査 ・クールシェア・ウォームシェアの推進 ・館林市蓄電池設備設置補助金の交付 ・暑さ対策・熱中症予防については、イベント開催や広報紙・ホームページ等で啓発を行った。 ・ミスト扇風機：2台更新	・地球温暖化対策実行計画結果の検証 ・再生可能エネルギー・省エネルギー対策の研究調査 ・クールシェア・ウォームシェアの推進 ・館林市蓄電池設備設置補助金の交付 ・各種気候変動対策事業の実施 （緑のカーテン設置、ミスト扇風機貸出、熱中症予防啓発等） ・ミスト扇風機の更新	温室効果ガス削減を進め、再生可能エネルギー研究やクールシェア・ウォームシェアを推進。69件の蓄電池設備を補助し、暑さ対策や熱中症予防を啓発して、地域のエネルギー効率向上と市民の健康を守る活動を展開している。	C	温室効果ガス削減については目標未達成だが、暑さ対策・熱中症予防等については予定した啓発を実施することができた。 またミスト扇風機2台を購入する予定であったが、猛暑の影響から市場に在庫がなく、購入を見送った。	・地球温暖化対策実行計画結果の検証及び計画の改訂 ・再生可能エネルギー・省エネルギー対策の研究調査 ・クールシェア・ウォームシェアの推進 ・館林市蓄電池設備設置補助金の交付 ・各種気候変動対策事業の実施（ミスト扇風機貸出、熱中症予防啓発等） ・ミスト扇風機の更新	【重要事業】館林市第6次総合計画
26	①環境・安全	人と動物が共生するまちづくり事業	地球環境課	2-4, 2-5	災害時における被災動物の救護、保護、応急措置、収容、健康管理体制、情報の収集及び提供体制整備を図る。	様々な機会を通して獣医師会との連携を図っているが、連絡会議開催には至らなかった。	県獣医師会及び館林地区獣医師会との連携を図る。	様々な機会を通して獣医師会との連携を図っているが、連絡会議開催には至らなかった。	C	災害時の活動を円滑かつ効率的に遂行するための連絡会議開催には至らなかった。	県獣医師会及び館林地区獣医師会との連携を図る。	
27	①環境・安全	環境調査事業	地球環境課	2-4, 7-3, 8-1	市内で発生する環境トラブルの解決及び被害の軽減を図り、状況によっては事故時、苦情時の環境調査を業者に発注する。	河川や池沼の水質、大気、騒音・振動、悪臭、地盤沈下などの環境の状況を常に把握するとともに、事業者への調査や指導を行うことにより、公害の防止に努める。	生活環境の保全対策として、水質、騒音等の環境調査を実施した。	生活環境の保全対策として、水質、騒音等の環境調査を実施した。	B	各種環境調査を実施し、現状把握に努めるとともに生活環境の保全対策を推進した。	河川や池沼の水質、大気、騒音・振動、悪臭、地盤沈下などの環境の状況を常に把握するとともに、事業者への調査や指導を行うことにより、公害の防止に努める。	
28	①環境・安全	合併処理浄化槽設置費補助事業	地球環境課	2-4, 6-3	地域の住環境改善のために、生活排水対策として合併処理浄化槽への転換を推進する。	令和5年度実績30件	広報などによる周知活動を積極的に行うとともに、浄化槽協会と連携し合併浄化槽への転換を推進していく。	令和6年度実績20件	C	令和6年度の合併処理浄化槽設置費補助件数は20件で前年度の30件を下回ったため、引き続き啓発活動を通じて転換を推進する必要がある。	広報などによる周知活動を積極的に行うとともに、浄化槽協会と連携し合併浄化槽への転換を推進していく。 ・浄化槽設置費補助事業補助 ・浄化槽維持管理費補助	【重要事業】館林市第6次総合計画

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連 事態	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまったもの	③ R7アクションプラン	備考	
29	①環境・安全	3R普及啓発活動推進事業	地球環境課	8-1	地域の住環境改善の一環として、3R普及啓発を図る。	出前講座を開催し、本市の資源とごみの現状を説明するとともに、3Rに関する講話を行った。	講座の積極的な開催により3Rの普及啓発を推進する。	出前講座を開催し、本市の資源とごみの現状を説明するとともに、3Rに関する講話を行った。	B	小学校の環境教育に伴う出前講座を10回、その他の出前講座を7回実施した。	講座の積極的な開催により3Rの普及啓発を推進する。	【重要事業】館林市第6次総合計画
30	①環境・安全	災害廃棄物処理対策推進事業	地球環境課	2-4, 7-2, 7-3, 8-1	館林市災害廃棄物処理計画の策定・見直しを行い、平時時から処理体制の強化に努める。	他自治体の事例等の情報収集を行ったほか、令和6年能登半島地震において災害応援として人的支援を実施。(水見市へ職員2名を派遣)	計画の実効性を高めるための見直しに取り組む。	具体的に見直しには取り組むことが出来なかった。	C	具体的に見直しには取り組むことが出来なかった。	計画の実効性を高めるための見直しに取り組む。	
31	①環境・安全	管きよ整備事業（公共下水道整備事業汚水）	下水道課	2-4, 6-3	生活排水を適正に処理するために、公共下水道などを地域の特性に応じて計画的に整備し、利用を促進するとともに、施設の長寿命化を図りながら維持管理に努める。	計画に基づき実施設計業務、汚水管築造工事を実施した。	・管渠実施設計委託 ・管路施設調査委託 ・汚水管築造工事	計画に基づき実施設計業務、汚水管築造工事を実施した。	B	計画に基づき実施設計業務、汚水管築造工事を実施した。	・管渠実施設計委託 ・管路施設調査委託 ・汚水管築造工事 ・公共下水道を利用できる地区の住人に下水道への接続を促す。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】社会資本整備総合交付金
32	①環境・安全	管きよ整備事業（公共下水道整備事業雨水）	下水道課	2-4, 6-3	雨水の急激な流出を抑制し排水機能を強化するため、幹線排水路や雨水きよなどの排水処理を計画的に整備、改修し、維持管理する。	計画に基づき雨水きよ築造工事を実施した。	・雨水きよ実施設計委託 ・雨水きよ築造工事 ・雨水出水浸水想定区域の検討	計画に基づき雨水きよ築造工事を実施した。	B	計画に基づき雨水きよ築造工事を実施した。	・雨水きよ実施設計委託 ・雨水きよ築造工事 ・雨水出水浸水想定区域の検討	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】防災・安全交付金
33	①環境・安全	事業継続計画（下水道BCP）策定・更新事業	下水道課	2-4, 6-3	大規模地震時においても迅速かつ可能な限り高いレベルで下水道機能の維持、回復が可能となるよう、下水道BCPを策定し、適切に運用する。	下水道BCPを更新し、平時から災害に備えている。	大規模地震時にも速やかに且つ可能な限り高いレベルで下水道機能の維持・回復を行っている。	下水道BCPを更新し、平時から災害に備えている。	B	下水道BCPを更新し、平時から災害に備えている。	大規模地震時にも速やかに且つ可能な限り高いレベルで下水道機能の維持・回復を行っている。	
34	①環境・安全	汚水処理施設耐震化・老朽化対策事業	下水道課	2-4, 6-3	下水道施設の耐震化と老朽化対策を計画的に進めるため、下水道ストックマネジメント計画を策定し、コスト削減と予算平準化を図りつつ、点検・調査・維持補修や更新を行う。	下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持補修や更新を実施した。	・終末処理場の耐震化を計画的に行っていく。 ・下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持補修や更新を行っていく。	下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持補修や更新を実施した。	B	下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持補修や更新を実施した。	・終末処理場の耐震化を計画的に行っていく。 ・下水道ストックマネジメント計画に基づき、維持補修や更新を行っていく。	【補助金・交付金】防災・安全交付金
35	①環境・安全	職員教育訓練・資格取得拡充事業	館林地区消防組合	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-3	関係機関等が開催している研修への参加、専門分野での学校入校、他の消防本部への派遣等を実施する。	新入職員には、入職初日から5日間を社会人として（消防職員として）の基礎訓練を行った後、各所属へ配属した。専門分野の研修へ派遣した職員は、当組合職員へ勉強会を開催して習得した知識を還元した。	当組合として、人材育成基本方針を作成する。	人材育成基本方針を作成した。	B	既に作成されている消防本部を参考として、当消防組合の実情に合わせて作成をした。組織内での承認を得たので次年度から実施する。	この方針を業務内に組み込み実施する。	
36	①環境・安全	消防体制の連携強化事業	館林地区消防組合	1-1, 1-2, 2-2, 7-1	館林市だけでは対応できない大災害において、県内及び県外からの応援要請に伴う連携強化のための緊急消防援助隊訓練を実施する。	群馬県緊急消防援助隊合同訓練や当組合で実施した緊急消防援助隊訓練、大規模災害訓練で発生した諸課題について、訓練を積み重ね迅速かつ明確な出陣対応が図れるよう体制強化に努めた。また、官民連携テロ対処合同訓練を実施し、外部連携の強化にも努めた。	引き続き訓練を積み重ね検討事項や課題をもとに、館林地区消防組合の緊急消防援助隊計画や受援計画の見直しを行い、当組合の体制強化に努める。また、外部機関との連携強化にも努める。	緊急消防援助隊応援計画の見直しを図り、定期的に出動訓練を実施し体制強化を図った。また、関係機関との水防業務研修や局所災害発生時の机上訓練を実施し、連携強化を図った。	B	緊急消防援助隊の教養研修を2回実施し、出動訓練を4回実施した結果、組合の体制強化が図れた。水防業務研修では、県・市町・警察機関との間で水害発生時等の情報共有を行い、局所災害訓練では、県・市町・警察機関・医療機関・鉄道会社と訓練を実施した結果、連携強化が図れた。	引き続き訓練を積み重ね検討事項や課題をもとに、館林地区消防組合の緊急消防援助隊計画や受援計画の適宜見直しを行い、当組合の体制強化に努める。また、引き続き外部機関との連携強化に努める。	
37	①環境・安全	地域防災力の充実・強化事業	安全安心課	1-1, 1-2, 2-2, 7-1	自主防災組織の結成・活性化を図り、地区防災計画の策定支援など地域全体の協力体制を推進する。	自主防災組織へ資機材整備費等補助金と防災訓練補助金を交付した。また、依頼のあった自主防災組織の訓練の支援を実施した。	地域防災力の強化を図るため、自主防災組織への資機材の整備や訓練の充実を図る。	希望する自主防災組織に対して補助金の交付や訓練の補助等の支援を実施し、新たな地区防災計画策定のための支援を実施	B	新規で地区防災計画を策定する地区の支援を実施し、次年度以降も継続していく。	地域防災力の強化を図るため、地区防災計画の策定支援、自主防災組織への資機材の整備や訓練の充実を図る。	【重要事業】館林市第6次総合計画
38	①環境・安全	査察体制強化事業	館林地区消防組合	1-1, 1-2, 7-1, 7-2	査察対象物における査察サイクルの管理を徹底し実施する。	違反対象物への指導強化及び公表制度による市民への広報を実施し、危険物施設への立入検査を習慣化させた。	違反対象物への重大違反意識の薄さに対する是正、指導強化及び広報、危険物施設に対する安全対策指導強化を実施。査察サイクルの管理、周知を図る。	各消防署の予防担当責任者に査察サイクルの管理を徹底させた。	B	査察R6実績 第1種査察対象物 目標33% 実績36% 第2種査察対象物 目標20% 実績33%	引き続き査察サイクルの管理に努める。	
39	①環境・安全	庁舎建設事業	館林地区消防組合	2-2	庁舎の老朽化に伴い新庁舎建設事業。	西分署改修工事に伴う設計完了	庁舎の維持管理及び老朽化施設の撤去を推進し、消防行政サービスの質の向上に努める。	西分署改修工事を完了	B	西分署改修工事を完了	庁舎の維持管理及び老朽化施設の撤去を推進し、消防行政サービスの質の向上に努める。	【補助金・交付金】防災・安全交付金
40	①環境・安全	災害対応車両整備事業	館林地区消防組合	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-2	整備計画に基づく車両の更新。	消防団車両1台更新（2か年事業）	車両整備計画に沿った車両更新による消防力の強化に努める	消防団車両1台更新（2か年事業）完了	B	消防団車両1台更新（2か年事業）完了	車両整備計画に沿った車両更新による消防力の強化に努める	【補助金・交付金】緊急消防援助隊設備整備費補助金
41	①環境・安全	消防団員の充実強化事業	館林地区消防組合	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-3	消防団員の確保が難しいなか、新人団員への講習や研修を行い、災害対応力の維持を図る。	「消防団の手引き」を作成、周知することで報酬や運営交付金などの処遇や受けられる制度を明らかにし、加入促進のための一助とした。また、邑楽消防団においては、県の入団促進事業の一環となるPR動画を制作した。	消防団アプリの導入を検討し、消防団員の現場活動支援を行うとともに消防団事務を掌る消防職員を含めた事務の負担軽減に努める。また、消防団の入団促進を目的とした機能別消防団員の導入について検討する。	消防団活動支援アプリ導入にあたり体制の整備を図った。	A	消防団活動支援アプリの導入が決定し、国の消防団の力向上モデル事業に採択された。令和7年度初めに実施する予定となった。機能別消防団制度の導入により消防団員を確保し、災害対応力の維持を図る。		
42	①環境・安全	高機能指令センター整備事業	館林地区消防組合	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-2	新庁舎移転新築に伴う、新指令台の整備を行う。	耐用年数を迎えた指令システム（AVM、署所端末装置）の更新に加え、同じく耐用年数を迎えた無線回線制御装置、基地局無線装置（活動波1・2、主運用波、統制用1）、無線統制台（指令課装置2台）等の更新を行った。	耐用年数を迎える指令システム系（コンピュータ関連のモニター、ハード、ソフト、サーバー装置）の部分更新、消防救急デジタル無線機（車載無線機、携帯無線機）の消耗品、財政負担を踏まえ、計画的な更新を図っていく。	耐用年数を迎えた指令システム系の部分更新に加え、映像通報システムを導入。また、消防救急デジタル無線機の計画的な更新計画（案）を策定した。	A	以前からの更新計画の実施に加え、通信運搬費の見直し削減を実施して、新たに映像通報システムを導入した。	次期全面更新において、標準インターフェイスを備えた仕様で内容措置の条件となるため、国の示す標準仕様書の内容について理解を深めている。	【補助金・交付金】消防防災施設整備費補助金
43	①環境・安全	し尿処理施設の耐震化・老朽化対策事業	館林衛生施設組合	2-4, 6-3	し尿処理施設の延命化のため、国の交付金を活用して設備改良工事を実施し、構成市町と協力して経済的かつ効果的なし尿処理を長期的に行う対策を進める。	施設保全計画に基づき、施設の各設備、機器等の点検・補修、整備を行い、適切な維持管理を行った。	令和4年度に策定した施設保全計画に基づき、施設・設備・機器の適切な維持管理、補修等の整備を行い、施設全体の延命化を図る。	施設保全計画に基づき、施設の各設備、機器等の点検・補修・整備を行い、適切な維持管理を行った。	B	環境保全計画のとおり、点検整備、修繕等を実施した。	令和4年度に策定した施設保全計画に基づき、施設・設備・機器の適切な維持管理、補修等の整備を行い、施設全体の延命化を図る。	【補助金・交付金】循環型社会形成推進交付金（廃棄物処理施設分）
44	①環境・安全	廃棄物処理施設における災害廃棄物対策推進事業	館林衛生施設組合	2-4, 7-2, 7-3, 8-1	組合管理の廃棄物処理施設へ搬入される災害廃棄物について、搬入条件、処理手順を確立する。	組合は構成市町策定する災害廃棄物処理計画に準じて処理を行う必要が、一部の構成自治体において当該計画が未策定の状況であることから、引き続き未策定自治体に対し早期策定を依頼した。	組合は構成市町が策定する災害廃棄物処理計画に準じて処理を行う必要が、一部の構成自治体において当該計画が未策定の状況であることから、引き続き未策定自治体に対して早期策定を依頼した。	組合は、構成市町が策定する災害廃棄物処理計画に準じて処理を行う必要が、一部の構成自治体において当該計画が未策定の状況であることから、引き続き未策定自治体に対して早期策定を依頼した。	C	組合は、構成市町が策定する災害廃棄物処理計画に準じて処理を行う必要が、一部の構成自治体において当該計画が未策定の状況であるため、引き続き当該計画が未策定の自治体に対して早期策定を依頼する。		
45	①環境・安全	水道施設の耐震化・老朽化対策事業	群馬東部水道企業団	6-2	水道施設の計画的な更新を行う。	老朽管の更新を実施。水道施設強靱化計画を策定。	水道施設強靱化計画に基づき、引き続き老朽管の更新を実施予定。	老朽管の更新を実施。	B	計画どおりの事業を行っている。	水道施設強靱化計画に基づき、引き続き老朽管の更新を実施予定。	
46	①環境・安全	再構築にもなる水道施設の災害対策事業	群馬東部水道企業団	6-2	停電時の自家発電機能の充実や災害時に必要な水道水を効率的に届けられるよう応急給水体制を強化する。	令和5年度は、浄配水施設の災害対策工事はなし。	引き続き、災害対策を実施予定。令和6年度は浄配水施設の具体的な災害対策工事予定はなし。	令和6年度は、浄配水施設の災害対策工事はなし。	B	計画どおりの事業を行っている。	引き続き、災害対策を実施予定。令和6年度は浄配水施設の具体的な災害対策工事予定はなし。	
47	②福祉	公立幼稚園・保育園・こども園運営管理	こども課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	全国において、火災や風水害等を想定した月1回の避難訓練、年2回の総合避難訓練を実施し、防災に対する意識の向上を図っている。	月1回 避難訓練 年2回 総合避難訓練（コロナ前同様の通常訓練） 業務継続計画を作成し、災害発生時に備える。	引き続き避難訓練等を実施し防災に対する意識の向上を図るとともに、業務継続計画を作成し災害発生時に備える。	月1回 避難訓練 年2回 総合避難訓練（コロナ前同様の通常訓練） 業務継続計画を作成し、災害発生時に備えることができた。	B	避難訓練等を実施し、防災に対する意識の向上を図るとともに、業務継続計画を作成し災害発生時に備えることができた。	引き続き避難訓練等を実施し防災に対する意識の向上を図るとともに、業務継続計画を作成し災害発生時に備える。	
48	②福祉	救急医療情報キット配布事業	高齢障がい政策課	1-1, 1-2, 2-2, 2-3, 2-5, 4-1	ひとり暮らしの高齢者に緊急医療キットを配布し、医療情報を迅速に提供できる体制を整える。	民生委員を通じ、救急医療情報キット希望者に配布を実施した。また、キットに収める情報記入用紙の更新を希望する方に用紙を配布し、情報の更新を支援した。	救急医療情報キット配布事業を継続し、必要に応じてキットの情報を更新する。	民生委員を通じ、救急医療情報キット希望者に配布を実施した。また、キットに収める情報記入用紙の更新を希望する方に用紙を配布し、情報の更新を支援した。	B	キットの配布を希望する方に民生委員を通じ配布を実施した。	救急医療情報キット配布事業を継続し、必要に応じてキットの情報を更新する。	【重要事業】館林市第6次総合計画
49	②福祉	避難行動要支援者名簿整備事業（個別避難計画の作成）	安全安心課 社会福祉課 高齢障がい政策課 介護保険課	1-1, 1-2, 1-3	災害時に支援が必要な高齢者や障がい者等を迅速に避難誘導するため、避難行動要支援者名簿を整備・見直しを行い、支援が必要な方の個別避難計画を作成することで、円滑な避難誘導体制を整備する。	個別避難計画の取組みのなかで、避難行動要支援者の避難行動支援を行う支援者を選定した。	避難行動要支援者名簿を基に、個別避難計画の作成を市内全域に展開していく。	個別避難計画作成を進めるために、避難行動要支援者名簿の整備と、個別避難計画作成の依頼を事業所へ実施した。	B	個別避難計画の作成を進めるため、優先度の基準を定めた。	避難行動要支援者名簿を基に、個別避難計画の作成を推進していく。	【重要事業】館林市第6次総合計画
50	②福祉	生活保護総務事業	社会福祉課	1-1, 1-2, 2-2, 2-3, 2-5, 4-1	災害時においても、要支援者の相談に対応することが出来るよう、平時時から関係機関等と連絡を密にし、支援に支障が生じない体制を整える。	面接相談員（1名）、就労支援員（1名）、生活保護支援員（1名）、医療レセプト点検員（1名）を配置し、社会福祉社主任任用資格の未取得者（1名）に資格を取得させた。	関係機関等と情報共有し、連携を強化する。 ・面接相談員配置 ・就労支援員配置 ・生活保護支援員配置 ・医療レセプト点検員配置 ・不正給付の防止 ・社会福祉社主任任用資格未取得者（1名）への資格取得支援	面接相談員（1名）、就労支援員（1名）、生活保護支援員（1名）、医療レセプト点検員（1名）を配置し、社会福祉社主任任用資格の未取得者（1名）に資格を取得させた。	B	要支援者の相談に対応することが出来るよう、支援に支障が生じない体制を整えた。	関係機関等と情報共有し、連携を強化する。 ・面接相談員配置 ・就労支援員配置 ・生活保護支援員配置 ・医療レセプト点検員配置 ・社会福祉社主任任用資格未取得者（1名）への資格取得支援	【重要事業】館林市第6次総合計画
51	③健康	保健福祉センター施設整備事業	健康推進課、高齢障がい政策課	1-1, 2-2	公共施設等総合管理計画及び実行計画に基づく老朽化設備の改修並びに、保守点検業務の実施及び補修箇所等の早期発見・早期対応を実施する。	引き続き、照明のLED化工事等を実施した。	公共施設等総合管理計画及び実行計画に基づく老朽化設備の改修を実施する。	老朽化や経年劣化などにより、施設の安定稼働・耐久性に影響が生じる設備等について、整備を実施した。	B	設備の保守点検を行い、発見された老朽箇所や不具合箇所等の修繕を10件実施した。	公共施設等総合管理計画及び実行計画に基づく老朽化設備の改修を実施する。 ・女子トイレ改修工事	修繕10件 保健センター及び老人福祉センターで実施した修繕の合計件数
52	③健康	救急医療体制事業	健康推進課	1-4, 2-3, 2-5	医師会や医療機関、保健福祉事務所等関係機関と連携し、災害時に備える初期医療体制及び後方医療体制等の整備を進める。	平成30年度から保健福祉事務所の主催により、邑楽郡五町や医療機関などと災害医療訓練を実施。令和2年度から4年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたが、令和5年度は再開した。	訓練実施により発見された問題などをあげて、災害時に適切に対応できるようにする。	邑楽郡五町や医療機関などと、館林市保健福祉事務所が主催する災害医療訓練を実施。	B	関係機関が災害発生時における自らの役割を理解することができた。今後も関係機関が連携し、有効な対策を講じることができるよう訓練を行う必要がある。	訓練実施により発見された問題などをあげて、災害時に適切に対応できるようにする。	
53	③健康	救急医療在宅当番医制事業	健康推進課	1-4, 2-3	医師会の協力のもと、休日に当番医で診療に当たる体制への支援を行う。	市民が休日に受診できるような医師会に業務委託し、当番の医療機関を広報紙やホームページを通じ、情報提供を行っている。	現在の事業の継続。 ・救急医療在宅当番医制運営委託賠償責任保険料 ・救急医療在宅当番医制運営委託料	市民が休日に受診できるような医師会に業務委託し、当番の医療機関を広報紙やホームページを通じ、情報提供を行っている。	B	医師会の協力により、令和6年度においても休日当番医を実施することができた。	現在の事業の継続。 ・救急医療在宅当番医制運営委託賠償責任保険料 ・救急医療在宅当番医制運営委託料	【重要事業】館林市第6次総合計画
54	③健康	夜間急病診療所事業	健康推進課	1-4, 2-3	館林市邑楽郡医師会協力のもと、内科及び小児科の夜間診療への支援を行う。	市民が夜間に受診できるような医師会に業務委託し、診療時間等、広報紙やホームページを通じ情報提供を行っている。	現在の事業の継続。 ・夜間急病診療所の管理運営 ・休日当番医（外科）	市民が夜間に受診できるような医師会に業務委託し、診療時間等、広報紙やホームページを通じ情報提供を行っている。	B	館林市邑楽郡医師会協力のもと、令和6年度においても夜間診療を実施することができた。公立館林厚生病院協力のもと、休日当番医（外科）についても隔月で実施している。	現在の事業の継続。 ・夜間急病診療所の管理運営 ・休日当番医（外科）	【重要事業】館林市第6次総合計画

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連事型	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまったもの	③ R7アクションプラン	備考	
55	③健康	休日歯科診療所事業	健康推進課	1-4, 2-3	館林邑歯科医師会が運営する休日歯科診療業務に対し助成を行う。	市民が休日に受診できるよう、館林邑歯科医師会の運営への負担金の支出。	現在の事業の継続。 休日歯科診療所運営費負担金	市民が休日に受診できるよう、館林邑歯科医師会の運営への負担金の支出。	B	歯科医師会の協力により、令和6年度においても休日歯科診療を実施することができた。	現在の事業の継続。 休日歯科診療所運営費負担金	【重要事業】館林市第6次総合計画
56	③健康	感染症予防事業	健康推進課	2-4	感染症予防法に基づき、感染症の予防対策を実施する。	厚労省などの感染症情報入手し速やかに市民に提供した。また、令和2年度から3年度にかけては、学校などにマスクや抗原検査キットを提供したり、新型コロナウイルス感染症防止対策として、防護服やマスク、消毒液の備蓄を行っている。	現在の事業の継続。 台風、大雨等により溢水被害が発生した際の薬剤配布	厚労省などの感染症情報入手し速やかに市民に提供した。また、令和2年度から3年度にかけては、学校などにマスクや抗原検査キットを提供したり、新型コロナウイルス感染症防止対策として、防護服やマスク、消毒液の備蓄を行っている。	B	国や県からの感染症の最新情報をホームページ等で周知している。 防護服やマスク、消毒液を備蓄している。	現在の事業の継続。 台風、大雨等により溢水被害が発生した際の薬剤配布	【重要事業】館林市第6次総合計画
57	③健康	かかりつけ医推進事業	健康推進課	1-4, 2-3	市民がかかりつけ医を持てるよう、ホームページに医療機関一覧を掲載し、転入者などにお医者さんマップを配布している。	普段から自身が健康であることを自負している人ほど医療機関を受診する機会も少なく、かかりつけ医を持つ必要性を訴えかけにくい。このため、かかりつけ医の必要性を、転入者等にお医者さんマップを配布し周知を図った。	現在の事業の継続。 転入者等のお医者さんマップの配布やホームページでの医療機関一覧の掲載	普段から自身が健康であることを自負している人ほど医療機関を受診する機会も少なく、かかりつけ医を持つ必要性を訴えかけにくい。このため、かかりつけ医の必要性を、転入者等にお医者さんマップを配布し周知を図った。	B	市民がかかりつけ医を持てるよう、ホームページに医療機関一覧を掲載し、転入者などにお医者さんマップを配布する。 転入者等、かかりつけ医を持つことの必要性を周知する。	現在の事業の継続。 転入者等のお医者さんマップの配布やホームページでの医療機関一覧の掲載	
58	③健康	広域医療圏の連携・協体制強化事業	健康推進課	1-4, 2-3	両毛地域の自治体や病院と広域で連携体制を確保するため、様々な協議会や会議を通じて協力を図る。	新型コロナウイルス感染症の流行により、会議が書面総会に変更になったり、中止になったりしていたが、「太田・館林地域保健医療対策協議会」は令和4年度から対面での会議になり、参加している。	市や県境を越えた医療機関などとの連携や、広域での救急医療体制の構築を図るとともに、県相互の連携が図れるよう協力している。	市や県境を越えた医療機関などとの連携や、広域での救急医療体制の構築を図るため「太田・館林地域保健医療対策協議会」及び「地域医療連携調整部会」が書面総会により開催された。	B	令和6年度は「太田・館林地域保健医療対策協議会」及び「地域医療連携調整部会」が書面総会により開催された。	市や県境を越えた医療機関などとの連携や、広域での救急医療体制の構築を図るとともに、県相互の連携が図れるよう協力していく。	
59	③健康	予防接種事業	健康推進課	2-4, 2-5	定期予防接種の実施及び任意予防接種について接種費用助成を行う。	・麻しん風しんの予防接種については、目標とする95.9%の接種率を上回り、接種率を維持することができた。 ・令和5年4月より子宮頸がんワクチンの9価ワクチンが始まったため、対象者を全員に個別通知を行い、9価ワクチンの情報提供を行った。 ・令和5年10月より帯状疱疹ワクチンの助成を開始し、経済的な負担軽減を図ることができた。	・予防接種法に基づく定期予防接種事業の実施 ・任意予防接種費用助成事業 （おたふくかぜワクチン2人2回、大人の風しんワクチン、高齢者用肺炎球菌ワクチン、帯状疱疹ワクチン、骨髄移植等予防接種再接種、子宮頸がん予防ワクチン任意接種）	麻しん風しんの予防接種率が95.9%を上回り、接種率の維持に成功。子宮頸がんワクチンのモリヤッチアップ接種では、令和6年度までの未接種者に対し、はがき通知や市公式LINE、ポスター掲示を通して周知を強化し、令和7年度の経過措置についても個別通知を実施。また、帯状疱疹ワクチンの助成申請を窓口および電子申請で受け、利用者の利便性の公用に寄与した。	A	・予防接種法に基づく定期予防接種事業の実施 ・任意予防接種費用助成事業の実施 個別通知の送付や電話勧奨、広報、市ホームページや子育てナビ、保健センターだよりへの掲載、保育園や小学校等へのチラシ配布等で周知・勧奨に努めた。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】予防接種法に基づく予防接種（麻しん、風しんワクチンの接種率）	
60	③健康	公立館林厚生病院施設整備事業	邑楽館林医療企業団	2-3	災害拠点病院として、運営体制及び施設・設備の維持・管理を図る。	設計事務所による建築点検及び設備点検の実施	建築点検、建築設備点検（設計事務所）を実施して おり、不具合が生じた場合必要に応じ修繕する。	建築点検、建築設備点検を実施しており（設計事務所）、不具合が生じた場合必要に応じ修繕する。	B	建築点検、建築設備点検の際、非常照明器具の不良の指摘があり都度交換した。	建築点検、建築設備点検（設計事務所）を実施しており、不具合が生じた場合必要に応じ修繕する。	
61	④子育て	放課後児童健全育成事業	こども課	1-1, 1-2, 2-5, 7-1, 4-1	全放課後児童クラブにおいて、火災や風水害等を想定した避難訓練を実施し、防災に対する意識の向上を図る。	各クラブで安全計画の策定、マニュアルの見直しを行った。 定期的に防災訓練を実施した。	引き続き避難訓練等を実施し、各クラブの状況に応じてマニュアルの見直しを行うことで、防災に対する意識の向上を図る。	各クラブで安全計画の策定、マニュアルの見直しを行った。 定期的に防災訓練を実施した。	B	定期的な避難訓練等により、防災に対する意識の向上を図ることができた。	引き続き避難訓練等を実施し、各クラブの状況に応じてマニュアルの見直しを行うことで、防災に対する意識の向上を図る。	【重要事業】館林市第6次総合計画
62	④子育て	地域子ども・子育て支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）	子育て支援課	1-1, 1-2, 2-2, 2-3, 4-1	まかせて会員養成講習会やお願ひ会員登録時に、ファミリー・サポート中の防災に対する意識の向上を図る。	市社会福祉協議会と連携し、令和2年度に整備したヒヤリ・ハットマニュアルの実践を伴う研修会を実施した。	引き続き研修を実施し、まかせて会員の防災への意識をさらに高め、事故対応の理解を深める。	市社会福祉協議会と連携し、令和2年度に整備したヒヤリ・ハットマニュアルの実践を伴う研修会を実施した。	B	令和5年度に引き続き、まかせて会員に対し、ヒヤリ・ハットマニュアルに関連したフォローアップ研修会を実施し、防災意識を高めることにも、事故発生時の対応について理解を深めることができた。また、事故なく安全に事業を実施することができた。	引き続き研修を実施し、まかせて会員の防災への意識をさらに高め、事故対応の理解を深める。	【重要事業】館林市第6次総合計画
63	⑤学び	公園競技施設管理運営事業	スポーツ振興課	1-1, 1-2, 2-5, 7-1, 7-2, 8-1	スポーツ施設の災害時の避難所として使用できるよう、屋内設備と屋外施設の管理維持や整備・改修を行う。	ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事、ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事監理業務委託、ダノン城沼アリーナ1階シャワー室改修工事、城沼陸上競技場段差解消工事を実施した。	災害時の避難所として各施設の計画的な整備及び改修を実施する。 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事 ・ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事監理業務委託 ・ダノン城沼アリーナ外壁（南側）改修工事 ・ダノン城沼アリーナ構内電話交換設備等改修工事 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事設計業務委託 ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事設計業務委託	災害時の避難所機能を強化するため、ダノン城沼アリーナで空調設備、外壁（南側）、構内電話交換設備の改修工事とその監理業務を実施した。	B	予定していた改修工事は滞りなく終了し、ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事設計業務委託、ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事設計業務委託はR7年度実施予定	災害時の避難所として各施設の計画的な整備及び改修を実施する。 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事 ・ダノン城沼アリーナエレベーター設置工事監理業務委託 ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事 ・ダノン城沼アリーナLED照明設備改修工事監理業務委託	【重要事業】館林市第6次総合計画
64	⑤学び	体育施設管理運営事業	スポーツ振興課	1-1, 1-2, 2-5, 7-1, 7-2, 8-1	社会体育施設を災害時の避難所として使用できるよう、屋内設備と屋外施設の管理維持や整備・改修を行う。	青少年ひろは北側通路修繕を実施した。	災害時の避難所として各施設の計画的な整備及び改修を実施する。 ・青少年ひろは整地等修繕	災害時の避難所として、市民体育館の照明設備の修繕を実施する。 各施設の計画的な整備及び改修を実施。	B	・市民体育館の照明設備、トイレ等の修繕を実施。	災害時の避難所として、市民体育館を始めとする修繕、各施設の計画的な整備及び改修を実施。	【重要事業】館林市第6次総合計画
65	⑤学び	防災教育推進事業	学校教育課	1-1, 1-2, 1-3, 1-4	各校における学校安全計画に災害安全に関する教職員研修の内容を盛り込む。	年度当初に安全主任会議を開催し、防災教育に関する情報提供、避難訓練の依頼を行った。 市内全16校がコミュニティ・スクールとなり、学校運営協議会においても、地域とともに防災教育・避難訓練に取り組む学校も見られた。	地域や家庭、関係機関等と連携した「共感力」を高める「防災教育」をさらに推進する。水害の避難訓練を全16校で実施する。	年度当初、安全主任会議を開催し、防災教育の情報提供と避難訓練の依頼を行った。全校から危機回避能力向上の指導報告を受け、水害避難訓練も指定区域内の学校で実施した。	B	当初の目標に加え、全校より「児童生徒が自ら危険を回避できる力（危機回避能力）を高める指導について」について報告を頂くことができ、さらに防災教育を推進することができた。	地域や家庭、関係機関等と連携した「共感力」を高める「防災教育」をさらに推進する。水害の避難訓練を指定区域の全校で引き続き実施する。	
66	⑤学び	小・中学校施設整備事業	教育総務課	1-1, 1-2, 2-5, 7-1, 7-2, 8-1, 8-3	良好な教育環境を確保し、災害時に避難所として使用できるよう、トイレの洋式化、老朽施設・設備の改修、空調設備の設置を行う。	・丸小トイレ改修工事 ・三小トイレ改修工事設計業務委託 ・美園小トイレ改修工事設計業務委託 ・八小外壁改修工事 ・三小普通教室棟防水改修工事	施設の老朽化対策事業は、良好な教育環境を確保する必要があるとともに、地域の防災拠点（避難場所）であることから、継続して実施していく。 ・三小トイレ改修工事 ・美園小トイレ改修工事	施設の老朽化対策事業は、良好な教育環境を確保する必要があるとともに、地域の防災拠点（避難場所）であることから、継続して実施していく。 ・三小トイレ改修工事 ・美園小トイレ改修工事	B	三小及び美園小のトイレ改修工事を実施した。	施設の老朽化対策事業は、良好な教育環境を確保することから、継続して実施していく。 ・一小トイレ改修工事設計業務委託	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】学校施設環境改善交付金
67	⑤学び	向井千秋記念子ども科学館施設整備事業	向井千秋子ども科学館	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	市庁舎の代替施設の一つとして、施設・設備の適切な保守点検・整備及び老朽箇所や不具合箇所等の改修を進める。	令和5年度は、前年度の外壁外補修設計業務委託の成果を使用して工事を行った。また、設備の保守点検を行い、発見された老朽箇所や不具合箇所等の修繕を7件実施した。	設計を基に外壁等補修工事を行い、建築物定期報告や保守点検報告を参考に老朽箇所や不具合箇所等の修繕を進めていく。	令和6年度は、令和5年度に引き続き、令和4年度の外壁外補修設計業務委託の成果を使用して工事を行った。また、突如として発生した冷却塔の異常にも、補修工事の対応を行った。設備の保守点検を行い、発見された老朽箇所や不具合箇所等の修繕を9件実施した。	B	予定されていた工事を予定通り実施した。 また、突如として発生した冷却塔の異常にも、補修工事の対応を行った。 施設や展示物の修繕も行った。	設計等を基に屋上防水等補修工事を行い、建築物定期報告や保守点検報告を参考に老朽箇所や不具合箇所等の修繕を進めていく。	
68	⑤学び	郷土関連図書や地域資料の収集事業	図書館	8-3	郷土の歴史や行政の姿が分かる郷土資料や行政資料を収集・保存することで、復興時に郷土の文化や、行政機関の指針となる資料を提供する。	郷土資料243点を受け入れ、不要本49点を除籍・製本し、総数は26,982点となった。	資料を適切に整理保存し、速やかに提供する。	郷土資料224点を受け入れ、不要本7点を除籍し、総数は27,199点となった。	B	郷土資料を収集できた。	資料を適切に整理保存し、速やかに提供する。	
69	⑤学び	図書資料収集事業	図書館	1-1, 1-2, 1-3, 1-4	防災に関する資料を収集し、市民に提供する。	9/1～9/28の期間に、「防災の日～関東大震災から100年」をテーマにした企画コーナーを設置し、防災や関東大震災に関する本約70冊を展示・貸出を行った。	防災に関する図書の企画を実施する。	・災害に関する図書を新たに16冊購入した。 12/3～12/27の期間に「災害への備え大丈夫ですか？」をテーマにした企画コーナーを設置し、防災や震災に関する本約90冊を展示・貸出を行った。	B	企画コーナーには問合せのあったペットとの避難についての本も用意した。貸出冊数は58冊と少なめであったが、どの本もまんべんなく貸し出された。	防災に関する図書の企画を実施する。	
70	⑤学び	公民館施設整備事業	生涯学習課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	社会教育施設を災害時の避難所とするため、計画的に改修し、年1回の避難訓練と設備点検を行い、防災意識を高める。	各施設の利用状況や整備状況に合わせ、適宜、工事や修繕をおこなっている。	各施設の利用状況や整備状況に合わせ、適宜、工事や修繕をおこなっている。	各施設の利用状況や整備状況に合わせ、適宜、工事や修繕をおこなっている。	B	計画していた施設整備を行えた。	計画的な施設整備をおこなう。 ・赤羽公民館和室（1階・2階）空調設備改修工事 ・六郷公民館屋外ドレン排水管改修工事 ・赤羽公民館壁面改修工事 ・公民館事務室等照明設備LED化工事（郷谷公民館・中部公民館・大島公民館・赤羽公民館・六郷公民館・多々良公民館・西公民館・城沼公民館）	【重要事業】館林市第6次総合計画
71	⑤学び	公民館学級講座開設事業	生涯学習課	8-3	各公民館において様々な学級講座を開設し、社会教育を推進していく中で、防災意識の向上を図る。	コロナ禍によって、地域の希薄化が進む中、各公民館では、感染対策やwithコロナ、アフターコロナを見据えた講座の開催方法を工夫しつつ、地域コミュニティにつながる各種講座を開催している。	地域の希薄化が進む中、各公民館では、地域コミュニティにつながる各種講座を開催している。	事業の実施ができた。 ・小学校家庭教育学級 11講座 延 973名 ・女性セミナー 11講座 延 1,815名 ・高齢者教室 11講座 延 3,292名 ・少年少女教室 11講座 延 2,070名 ・成人講座 3講座 延 178名 ・環境保護実践講座 1講座 延 78名 ・子育て教室 4講座 延 754名 ・地域コミュニティ育成講座 13講座 延 852名	B	地域の課題や交流等に目を向け、社会教育を推進していく。 ・小学校家庭教育学級 ・女性セミナー ・高齢者教室 ・少年少女教室 ・成人講座 ・環境保護実践講座 ・子育て教室 ・地域コミュニティ育成講座ほか	【重要事業】館林市第6次総合計画	
72	⑤学び	文化施設維持管理・整備事業	文化振興課	1-1, 1-2, 2-5, 7-1, 7-2, 8-1, 8-3	文化施設を災害時の避難所として使用できるよう、老朽化や経年劣化などにより、施設の安定稼働・耐久性に影響が生じる設備等について、優先度を考慮しながら計画的に整備する。	老朽化や経年劣化などにより、施設の安定稼働・耐久性に影響が生じる設備等について、優先度を考慮しながら計画的に整備している。 ・文化会館会館棟トイレ改修工事を実施 ・文化会館高梁水精更新改修工事を実施 ・三の丸芸術ホール屋上防水改修工事を実施	老朽化や経年劣化などにより、施設の安定稼働・耐久性に影響が生じる設備等について、優先度を考慮しながら計画的に整備している。 ・予定していた工事はすべて実施	老朽化や経年劣化などにより、施設の安定稼働・耐久性に影響が生じる設備等について、優先度を考慮しながら計画的に整備している。 ・予定していた工事はすべて実施	B	各改修工事により、施設の長寿命化の一部を実施できた。	各施設の計画的な整備及び改修を実施する。 ・文化会館大ホール楽屋空調設備改修工事 ・文化会館非常用発電機更新工事設計業務委託 ・文化会館受水精更新工事設計業務委託	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】文化施設における年間利用者数
73	⑤学び	文化財保護管理、茂林寺沼及び低地湿原保護管理事業	文化振興課	8-3	災害時に文化財指定地や埋蔵文化財包蔵地が無断開発され、価値を損なわないよう保護する。	・湿原保全のための委員会・調査の実施 ・湿原・木道の維持管理（ヨシ刈り等）・巡検の実施	湿原保全を目的に、委員会や調査を実施し、湿原と木道の維持管理や巡検を行った。さらに、新規井戸掘削工事を実施し、一部管理にはアダプト制度（有償ボランティア）を導入した。	湿原保全を目的に、委員会や調査を実施し、湿原と木道の維持管理や巡検を行った。さらに、新規井戸掘削工事を実施し、一部管理にはアダプト制度（有償ボランティア）を導入した。	A	・専門委員会（年2回開催）、調査（通年モニタリング実施） ・ヨシ刈り等（夏季・冬季実施）、巡検（随時実施） ・新規井戸掘削（令和7年2月供用開始） ・アダプト制度（有償ボランティア）の拡大 ・環境省「令和7年良好な水環境保全・活用モデル事業」（採択事業「茂林寺沼湿原」保全・活用100年プロジェクト）実施	・湿原保全のための委員会・調査の実施 ・湿原・木道の維持管理（ヨシ刈り等）・巡検の実施 ・アダプト制度（有償ボランティア）の拡大 ・環境省「令和7年良好な水環境保全・活用モデル事業」（採択事業「茂林寺沼湿原」保全・活用100年プロジェクト）実施	【重要事業】館林市第6次総合計画
74	⑤学び	文化財保護管理事業	文化振興課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1, 8-3	建造物の耐震化や指定地内の高木の剪定・伐採を進め、巡検で文化財の現状を把握し、防災体制の整備と所有者への支援を行う。	・館林市文化財保存活用地域計画の作成 ・指定・登録文化財こととの保存管理・活用計画検討 ・文化財とその周辺の安全管理（樹木・説明板等）	館林市文化財保存活用地域計画の作成 ・指定・登録文化財こととの保存管理・活用計画検討 ・文化財とその周辺の安全管理（樹木・説明板等）	文化財保存活用地域計画の作成、指定・登録文化財こととの保存管理、活用計画を検討した。文化財とその周辺の安全管理として樹木や説明板の整備を行った。	A	・地域計画の文化庁認定（令和6年12月） ・保存管理、活用計画検討（検討中） ・文化財周辺の安全管理（随時実施）	・館林市文化財保存活用地域計画に位置付けた具体的措置展開と進捗管理 ・指定・登録文化財こととの保存管理・活用計画検討 ・文化財とその周辺の安全管理（樹木・説明板等） ・「田山花袋旧居」屋根修繕の実施	【重要事業】館林市第6次総合計画

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連 事態	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまったもの	③ R7アクションプラン	備考	
75	⑤学び	資料館運営・田山花袋記念文学館資料保存管理事業	文化振興課	8-3	被災後の復興の一環として、地域の伝統的な文化遺産を保護する。	・災害発生時を想定した資料管理体制の整備 ・文化財保存活用地域計画への防災時対応位置付け ・資料館・文学館資料管理強化に向けた施設整備検討 ・文学館消火設備改修工事	・災害発生時を想定した資料管理体制の整備 ・文化財保存活用地域計画への防災時対応位置付け ・資料館・文学館資料管理強化に向けた施設整備検討	災害発生時を想定し、資料管理体制を整備し、文化財保存活用地域計画に防災対応を位置付けた。また、資料館や文学館の資料管理強化に向けた施設整備を検討した。	B	・管理体制整備(検討中) ・地域計画への防災時対応位置付け(完了) ・施設整備検討(実施中)	・災害発生時を想定した資料管理体制の整備 ・地域計画に位置付けた防災・災害時対応の取組整備 ・資料館・文学館資料管理強化に向けた施設整備検討 ・田山花袋記念文学館屋根改修工事実施	
76	⑥都市	空家対策関係事業(利活用)	企画課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1, 8-4	市内の空き家を購入または賃借する人に費用の一部を助成し、賃主にも維持管理費用を助成。さらに、空き家バンク登録者には登録助成金を支給する。	空き家バンクの運営及び空き家利活用助成金の支給を行った。なお、R5から、空き家利活用助成金の新メニューとして「家財道具等処分」を追加している。	・空き家情報登録制度(空き家バンク) ・空き家利活用助成金の支給	引き続き、空き家バンクの運営及び空き家利活用助成金の支給を行うなど、空き家利活用の促進に努めた。	B	第6次総合計画において「空き家バンク登録物件利活用件数」を指標とし、令和3年度から7年度までに累計20件を数値目標として設定している。 令和6年度までの実績は累計19件(令和3年度:6件、令和4年度:5件、令和5年度:5件、令和6年度:3件)であり、目標に向かって順調に推移している。	・空き家情報登録制度(空き家バンク) ・空き家利活用助成金の支給	【重要事業】館林市第6次総合計画
77	⑥都市	空家対策関係事業(除却等)	建築課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1, 8-4	防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。	所有者の資金難や高齢化、さらには相続や所有者不明等の問題により改善の見込みがない空き家が増えている。	空き家除却助成金の助成。	所有者の資金難や高齢化、さらには相続や所有者不明等の問題により改善の見込みがない空き家が増えている。	B	空き家除却助成金の助成	空き家除却助成金の助成。	【補助金・交付金】社会資本整備総合交付金(空き家再生等推進事業)
78	⑥都市	公営住宅ストック総合改善事業	建築課	1-1, 7-1	群馬県地域住宅等整備計画及び館林市市営住宅長寿命化計画に基づく、市営住宅の屋根及び外壁改修工事を実施する。	市営住宅の老朽化、入居世帯の高齢化、世帯構成の多様化、入居率減少等、深刻な課題に直面している。 ・松沼町第2住宅外装改修工事 ・松沼町第1住宅外装改修工事 (屋上防水改修・外壁塗装)	市営住宅の老朽化、入居世帯の高齢化、世帯構成の多様化、入居率減少等、深刻な課題に直面している。 ・松沼町第2住宅外装改修工事 ・松沼町第1住宅外装改修工事 (屋上防水改修・外壁塗装)	市営住宅の老朽化、入居世帯の高齢化、世帯構成の多様化、入居率減少等、深刻な課題に直面している。 ・松沼町第2住宅外装改修工事 ・松沼町第2住宅外装改修工事 (屋上防水改修・外壁塗装)	B	松沼町第2住宅外装改修工事の実施	市営住宅の再編見直し等の検討を行い事業の効率化及び平準化を図る必要がある。 ・日向町第2住宅外装改修工事 ・東部第7住宅給湯設備改修工事 ・上三林町第3、第4住宅共用部LED化工事 ・若宮町第3住宅インターホン設備設置工事	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】防災・安全交付金(公営住宅ストック総合改善事業)
79	⑥都市	市営住宅管理事業	建築課	1-1, 7-1	市は市営住宅の政策企画、家賃算定、滞納整理、法的措置、工事を行い、入退去管理や家賃徴収、修繕は群馬県住宅供給公社に委託している。	市営住宅の老朽化、入居世帯の高齢化、世帯構成の多様化、入居率減少等、深刻な課題に直面している。 ・松沼町第1住宅外装改修工事 (屋上防水改修・外壁塗装)	市営住宅の老朽化、入居世帯の高齢化、世帯構成の多様化、入居率減少等、深刻な課題に直面している。 ・松沼町第2住宅外装改修工事 ・松沼町第2住宅外装改修工事 (屋上防水改修・外壁塗装)	市営住宅の老朽化、入居世帯の高齢化、世帯構成の多様化、入居率減少等、深刻な課題に直面している。 ・松沼町第2住宅外装改修工事 ・松沼町第2住宅外装改修工事 (屋上防水改修・外壁塗装)	B	松沼町第2住宅外装改修工事の実施	市営住宅の再編見直し等の検討を行い事業の効率化及び平準化を図る必要がある。 ・日向町第2住宅外装改修工事 ・東部第7住宅給湯設備改修工事 ・上三林町第3、第4住宅共用部LED化工事 ・若宮町第3住宅インターホン設備設置工事	【補助金・交付金】防災・安全交付金(公営住宅ストック総合改善事業)
80	⑥都市	館林市木造住宅耐震診断者派遣事業	建築課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	昭和56年以前の木造住宅に耐震診断資格者を派遣し、無料で耐震診断を行い結果を通知する。	納税通知書にDMを同封し、建物の所有者に直接働きかけを行ったことにより、R4年度より応募件数は増えたものの募集戸数までは達しなかった。	さらなる臨戸訪問の推進と、市内の旧耐震住宅に普及啓発の案内等の通知を行い、応募件数が増えるよう検討をする。	納税通知書にDMを同封し、建物の所有者に直接働きかけを行ったことにより、R5年度より応募件数は増えたものの募集戸数までは達しなかった。	C	館林市木造住宅耐震診断者派遣事業の実施	さらなる臨戸訪問の推進と、市内の旧耐震住宅に普及啓発の案内等の通知を行い、応募件数が増えるよう検討をする。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)
81	⑥都市	館林市木造住宅耐震改修補助事業	建築課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	昭和56年以前の木造住宅で倒壊の可能性があるとして診断されたものに、耐震診断や改修を行い、基準を満たす改修をした方に補助金を交付する。	耐震診断事業の申込後の処理を迅速に行うため、契約方式等を変更し、耐震診断から耐震改修までを、1年以内で行える様に変えたが、R5年度の申請はなかった。	耐震改修の応募条件である耐震診断を申込後迅速に行うことにより、次のステップである耐震改修につなげる。	耐税通知書へのDMの同封や広報誌等による広報活動を行ったが、R5年度の申請はなかった。	C	館林市木造住宅耐震改修補助金の交付	耐震改修の応募条件である耐震診断を申込後迅速に行うことにより、次のステップである耐震改修につなげる。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)
82	⑥都市	館林市木造住宅耐震シェルター等設置補助金交付事業	建築課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	昭和56年以前の木造住宅で倒壊の可能性があるとして診断されたときに、耐震シェルターやヘットの設置で地震被害を軽減した方に補助金を交付する。	耐震診断事業の申込後の処理を迅速に行うため、契約方式等を変更し、耐震診断から耐震シェルターの設置までを、1年以内で行える様に変えたが、R5年度の申請はなかった。	耐震改修の応募条件である耐震診断を申込後迅速に行うことにより、次のステップである耐震シェルターの設置につなげる。	耐税通知書へのDMの同封や広報誌等による広報活動を行ったが、R5年度の申請はなかった。	C	館林市木造住宅耐震シェルター等設置実績なし	耐震改修の応募条件である耐震診断を申込後迅速に行うことにより、次のステップである耐震シェルターの設置につなげる。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)
83	⑥都市	ブロック塀等撤去工事補助事業	建築課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1	道路等に面する危険なブロック塀等を撤去する方に補助金を交付する。	納税通知書にDMを同封し、建物の所有者に直接働きかけを行ったが、1件の実績のみであった。	ホームページや広報等による制度の案内を行ない、他事業の臨戸訪問に合わせて戸別訪問を実施し危険なブロック塀撤去を推進する。	納税通知書にDMを同封し、建物の所有者に直接働きかけを行ったが、R5年度より応募件数は増えたものの募集戸数までは達しなかった。	C	ブロック塀等撤去費補助金の交付	ホームページや広報等による制度の案内を行ない、他事業の臨戸訪問に合わせて戸別訪問を実施し危険なブロック塀撤去を推進する。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)
84	⑥都市	耐震改修促進計画推進事業	建築課	1-1, 1-2, 2-3, 7-1, 7-2, 8-1	国の基本方針と群馬県の計画に基づき、令和7年度までの耐震化率目標を掲げ、住宅と特定建築物の耐震改修を総合かつ計画的に促進する。	R5年度の納税通知書にチラシを入れ発送することができたが、大きく実績の増加にはつながらなかった。	住宅及び特定既存耐震不適格建築物の所有者等に対して、耐震化の必要性の認識の普及・啓発を図る。	耐税通知書へのDMの同封や広報誌等による広報活動を行ったが、大幅な増加にはつながらなかった。	C	広報活動の実施	住宅及び特定既存耐震不適格建築物の所有者等に対して、耐震化の必要性の認識の普及・啓発を図る。	【補助金・交付金】防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業) 【KPI】住宅の耐震化率
85	⑥都市	被災建築物応急危険度判定体制整備事業	建築課	1-1, 7-1, 8-2, 8-4	地震被害を受けた木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の建築物について、有資格者による建築物の危険度の判定を行う。	市職員の有資格者が退職したことにより、有資格者が減少した。	被災時の調査主体となる市職員の有資格者の維持を目標とする。	令和6年度に新たに、講習を受講し目標人数達した。今後の職員の退職に備え講習会への受講を積極的に進めていく。	B	今後の職員の退職に備え講習会への受講を積極的に進めていく。	被災時の調査主体となる市職員の有資格者の維持を目標とする。	【KPI】職員の被災建築物応急危険度判定士登録者数
86	⑥都市	スマートインターチェンジに関する要望事業	都市計画課	1-1, 1-2, 1-3, 2-2, 2-3, 5-1, 6-4, 7-2	高速道路網へのアクセシビリティを高めるため、東北自動車道へのスマートインターチェンジの導入について検討し、交通利便性の向上による地域経済の活性化や緊急医療における移動性を高めるほか、災害発生時の移動の円滑化を図る。	設置に向け協議中。	設置に向けて関係機関と協議。	関係機関との協議を実施した。	B	予定していた協議を実施できた。	関係機関との協議を実施する。	【重要事業】館林市第6次総合計画
87	⑥都市	立地適正化推進事業	都市計画課	1-3, 8-4	館林市立地適正化計画で、居住誘導区域と都市機能誘導区域を浸水想定を考慮して設定し、区域内への誘導を図ることで災害リスク低減を促進する。	届出者及び届出予定者に対し、計画の趣旨を説明した。各課との連携により、立地適正化計画施策を実施した。	届出者及び届出予定者に対し、計画の趣旨を説明した。各課との連携により、立地適正化計画施策を実施した。	届出者及び届出予定者に対し、計画の趣旨を説明した。各課との連携により、立地適正化計画施策を実施した。	B	届出制度の運用により、計画の趣旨を説明した。調査により、各課の施策実施状況を確認した。	届出者及び届出予定者に対し、計画の趣旨を説明する。各課との連携により、立地適正化計画施策を実施する。計画策定からおおむね5年経過したことから総合計画と整合性・連携を図りつつ、計画の見直しを進める。	【重要事業】館林市第6次総合計画
88	⑥都市	地籍調査事業	都市計画課	8-4	市内全域で土地所有者の立会のもと境界を確定・測量し、正確な土地情報を把握して道路局に送付し、登記簿と公図を一致させる。大規模災害時には座標値データで境界を復元し、迅速な復興に役立てる。	平成16年度に県内の市で最も遅く事業に着手したこと、正確な土地情報を把握して道路局に送付し、登記簿と公図を一致させる。大規模災害時には座標値データで境界を復元し、迅速な復興に役立てる。	平成16年度に県内の市で最も遅く事業に着手したこと、正確な土地情報を把握して道路局に送付し、登記簿と公図を一致させる。大規模災害時には座標値データで境界を復元し、迅速な復興に役立てる。	以下の地区の調査を実施した。 ・上早川田町2地区(4年目・完了) ・大手町地区(4年目・完了) ・仲町1丁目地区(3年目) ・仲町及び西本町地区地籍調査等作成 ・本町一丁目地区地籍測量 ・西本町及び大街一丁目地区調査要素図作成	A	予定していた調査を実施し、次年度予定の調査も一部、前倒して実施できた。	以下の地区の調査を実施する。 ・中町1丁目地区(4年目・完了) ・本町一丁目地区(3年目) ・西本町地区(2年目) ・代官町外地区(1年目)	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】地籍調査の進捗率
89	⑥都市	被災宅地危険度判定体制整備事業	都市計画課	1-1, 7-1, 8-2, 8-4	庁内の技術職員を中心に、講習会や図上訓練等への参加を通じて、被災宅地危険度判定士の資格を取得し、知識を深め、非常時に備える。	ワーキング部会、現場訓練に参加するとともに、被災宅地危険度判定士の資格取得・更新を促し、継続的な人員確保と資質向上を推進した。R6年能登半島地震の被災宅地危険度判定に3名派遣し3日間の判定活動を実施。	ワーキング部会、図上訓練の実施や、被災宅地危険度判定の継続的な人員確保と資質向上を目指す。	ワーキング部会、現場訓練に参加するとともに、被災宅地危険度判定士の資格取得・更新を促し、継続的な人員確保と資質向上を推進した。	B	4月時点で44名であり、事業目標を7%上回った。	ワーキング部会、図上訓練の実施や、被災宅地危険度判定の継続的な人員確保と資質向上を目指す。	【KPI】職員の被災宅地危険度判定士登録者数
90	⑥都市	中央通り線道路改良事業	都市計画課	1-1, 1-2, 1-3, 2-2, 2-3, 5-1, 6-4, 7-1, 7-2	都市計画道路の中央通り線(560.0m)と大手町大街道線(220.0m)の事業を、平成28年度から令和11年度までの14年間で実施する。	用地取得面積 A= 3,840㎡	道路改良工事を行うため、用地取得を進める。 用地取得面積 A= 727㎡	用地取得面積 R5まで 3,840㎡ R6 636㎡ 合計 4,476㎡ (全体 6,232㎡)	C	用地取得面積 目標 727㎡ 実績 636㎡	用地取得面積 目標 602㎡	【重要事業】館林市第6次総合計画
91	⑥都市	大手町大街道線道路改良事業	都市計画課	1-1, 1-2, 1-3, 2-2, 2-3, 5-1, 6-4, 7-1, 7-2	都市計画道路の大手町大街道線の道路を改良する。都市計画決定済みであるが事業決定時期は未定である。	計画段階	事業化を推進する。	関係機関との協議を実施した。	C	本路線の一部を含む中央通り線道路改良事業が実施中であるため、事業化の推進が困難であった。	関係機関との協議を実施する。	
92	⑥都市	幹線排水路の整備・維持・管理事業	道路河川課	1-3, 5-2	準用河川富田川と宮田2号幹線排水路の整備事業を行い、総事業費は約2,078,300千円。整備率向上を図り、既存施設の除草・浚渫・パトロールを実施する。	宮田2号幹線排水路 調整池掘削 1082.6㎡ 用地買収 927.6㎡ 浚渫385.0m 浚渫630.0m	準用河川富田川の整備は令和4年度に終了し、今後は豪雨時の状況を注視する。宮田2号幹線排水路では今年度に用地買収を完了し、調整池掘削工事を計画的に実施する。また、既存の準用河川や水路の浚渫を行い、流下能力の健全に努める。	宮田2号幹線排水路調整池 掘削500m2 準用河川茂林寺川 浚渫1290m	B	事業目標を概ね達成した。	準用河川富田川の整備は令和4年度に終了し、今後は豪雨時の状況を注視する。宮田2号幹線排水路では今年度に用地買収を完了し、調整池掘削工事を計画的に実施する。また、既存の準用河川や水路の浚渫を行い、流下能力の健全に努める。	【重要事業】館林市第6次総合計画 【KPI】河川整備計画に基づく河川整備延長
93	⑥都市	道路新設及び既存道路の維持・管理事業	道路河川課	1-1, 1-2, 1-3, 2-2, 2-3, 5-1, 6-1, 6-4, 7-1, 7-2	道路整備延長の向上を図り、陥没補修や道路パトロールを実施する。具体的には、市道7003号線(成島町)で延長250mを幅員2.7mから6.0mに拡幅し、事業費は約51,000千円。市道5028号線(畑工町・小桑原町)で延長140mを幅員1.8~3.6mから5.0mに拡幅し、事業費は約46,000千円。市道2054, 2051号線(東広内町)で延長118mと157mを幅員1.8~3.5mから5.0mに拡幅し、事業費は約51,000千円。市道8199号線外6路線(岡野町)で延長1,077mを幅員5.0m~7.0mに改良し、事業費は約202,100千円。	①市道7003号線 道路改良工事L=190m施工済 ②市道5028号線 道路改良工事L=140m完了 ③市道2054, 2051号線 道路改良工事L=118m完了、L=47m施工済 ④市道8199号線外6路線 道路改良工事L=44m施工済 ・市道4265号線 舗装補修工事L=566.4m施工済	優先順位を考慮し、適切な整備を行う。補修は迅速に行う。道路パトロールは道路パトロール支援システムを活用し、損傷状態の把握に努めるとともに、職員は勤務時間に限らず移動時間に自配りする。また、郵便局集配職員通報制度も活用する。 ・市道9487号線: 舗装補修工事(国費) L=220m ・市道4265号線: 舗装補修工事 L=740m	B	事業目標を概ね達成した。 ・市道9487号線: 舗装補修工事(国費) L=220m ・市道4265号線: 舗装補修工事 L=740m	地域要望道路に加え、他事業関連事業や政策道路の重要性が高まっている。財源の模索とともに、必要性の精査が重要になる。	【重要事業】館林市第6次総合計画	

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連 事型	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまったもの	③ R7アクションプラン	備考	
94	⑥都市	道のてこぼ解消事業（歩道整備）	道路河川課	1-4	歩道の段差解消を進めるため、安全対策工事を市内全域で実施し、全体計画延長は7,170m、15路線で行う。総事業費は1,457,841千円。	市道1206号線L=560m完了 市道1095号線L=280m完了 市道1100号線L=280m完了 市道1107号線L=210m完了 市道1111号線L=330m完了 市道1線6号線L=150m完了 市道7215号線L=80m完了 市道4103号線L=1000m施工済	令和6年度をもって市道4103号線は完了する。今後は以東（市道4265号線）を整備する。	市道1206号線L=560m完了 市道1095号線L=280m完了 市道1100号線L=280m完了 市道1107号線L=210m完了 市道1111号線L=330m完了 市道1線6号線L=150m完了 市道7215号線L=80m完了 市道4103号線L=1120m完了	B	事業目標を概ね達成した。	令和6年度をもって市道4103号線は完了する。今後は以東（市道4265号線）を整備する。	【重要事業】館林市第6次総合計画
95	⑥都市	江川橋架替事業	道路河川課	1-3	陸間となっている江川橋を架け替えるため、事業延長680m、幅員8.5mで実施し、事業費は約1,000,000千円。	河川占用許可 用地買収（日向町） 5685.6m2	木戸町側用地取得及び河川内及び日向町側の工事着手を目指す。	用地買収（日向町） 1228.7m2 取付道路工事（日向町） L=213.5m	B	事業目標を概ね達成した。	木戸町側用地取得及び河川内及び日向町側の工事着手を目指す。	【重要事業】館林市第6次総合計画
96	⑥都市	橋梁長寿命化修繕事業	道路河川課	1-1, 1-3, 6-4, 7-1	橋梁364橋と横断歩道橋4橋に対し、5年に1回の定期点検を実施し、危険と判定されたものについては修繕を行う。	5年に1回の定期点検を継続し、点検の結果、速やかに補修が必要と判断した橋梁について修繕を行う。 ・橋梁点検業務委託 53橋実施 ・大志辺路線橋補修工事（3か年事業の2年目施工済） ・柳橋橋梁補修工事施工済	5年に1回の定期点検を継続し、点検の結果、速やかに補修が必要と判断した橋梁について修繕を行う。 ・橋梁点検業務委託 78橋 ・橋梁長寿命化修繕計画更新 1件 ・新富郷橋補修設計 1橋 ・大志辺路線橋補修工事（3か年事業の3年目）	5年に1回の定期点検を継続し、点検の結果、速やかに補修が必要と判断した橋梁について修繕を行う。 ・橋梁点検業務委託 78橋 ・橋梁長寿命化修繕計画更新 1件 ・新富郷橋補修設計 1橋 ・大志辺路線橋補修工事（3か年事業の3年目）	B	概ね当初計画どおりに執行し、成果を得ることができた。	5年に1回の定期点検を継続し、点検の結果、速やかに補修が必要と判断した橋梁について修繕を行う。 ・橋梁点検業務委託 85橋 ・近藤沼3号橋橋梁補修設計 1橋 ・四ツ谷排水幹線1号橋・2号橋橋梁補修設計 2橋 ・成島橋橋梁補修工事 1橋 ・新富郷橋梁補修工事 1橋	【重要事業】館林市第6次総合計画
97	⑥都市	都市公園等整備事業	緑のまち推進課	1-1, 1-2, 7-1	都市における防災機能の充実のため、公共空間の利活用に支障のある樹木の伐採・剪定を進めると共に、災害時に役立つ避難所機能（トイレや炊事）を計画的に整備する。	LED灯への切替として、近藤沼公園（東沼）で9基、分福町公園で19基、三の丸ちびっ子広場で1基の園路灯修繕を行い、修繕費はそれぞれ325,600円、966,900円、49,500円。 また、危険施設の修繕として、代官町歩行者路舗装、近藤沼公園（西沼）トイレ小便器、山神池ちびっ子広場遊具、多々良沼公園歩道、小泉原3号公園ブランコ、館林駅前駅前ベンチ、城町ちびっ子広場遊具雲梯、近藤東ちびっ子広場ブランコ、当郷新田運動広場水道メーター周りの修繕を行い、修繕費は合計で約2,726,092円。	園路灯等、公園の施設・設備等の再点検を行い、危険と判断されたものの優先順位を付け、修繕を行っている。 R6年度は、公園園路LEDランプ交換工事を50施設（171基）で交換予定。	LED灯への切り替えとして、大街道公園ほか49公園等で194基の交換工事、つししの運動広場ほか2箇所C5の修繕をおこなった。 また、危険施設の修繕として中央公園ほか4公園で5基の遊具（滑り台等）、代官町歩行者路の舗装修繕等をおこなった。	A	市民・利用者の安全性・快適性を考慮した工事・修繕を実施した。 園路灯交換を171基予定だったところ194基の交換をおこなえた。また、遊具等の修繕もできた。	園路灯等、公園の施設・設備等の再点検を行い、危険と判断されたものの優先順位を付け、修繕を行っている。 R7年度も継続して、公園園路LEDランプ交換工事を予定。	
98	⑥都市	公園施設管理・老朽化対策事業	緑のまち推進課	1-1, 1-2, 1-4, 2-2, 7-1	利用者の安全を最優先に、時代に合った施設を検討しつつ、既存施設の維持ではトータルコストの削減と予算の平準化を図るため、長寿命化計画に基づき計画的に維持補修や更新を進める。	遊具撤去を高根1号公園、朝日町公園、三角公園で実施し、合計12基、総工事費は2,640,000円	更新した長寿命化計画に基づいて健全度（老朽化）が明確になった施設に対し、更新及び撤去を検討していく。	遊具撤去を観音公園ほか10公園で実施し、合計13基の撤去。 また、三角公園トイレ改修工事、近藤沼公園（中沼・西沼）洋便器修繕等をおこなった。	A	遊具を撤去するだけではなく、老朽化していた三角公園トイレの改修工事、近藤沼公園のトイレ修繕も実施できた。	更新した長寿命化計画に基づいて健全度（老朽化）が明確になった施設に対し、更新及び撤去を検討していく。	
99	⑥都市	公園樹木管理事業	緑のまち推進課	1-1, 1-2, 1-4, 6-1, 7-1	公園樹木の倒木による人命被害や道路、通信網の切断を防ぐため、維持管理に努める。	公園・ちび広・保安林等の枯木、越境木、クビアカ被害木など伐採を行った。 R5 【伐採数】 160本 【剪定数】 5本 【伐採費】 33,525,000円	高木は、台風や強風により倒木などの危険が伴うため、公園維持管理業者に意見を聞きながら優先度の高い樹木を中心に、計画的に伐採を実施していく。	公園・ちび広・保安林等の枯木、越境木、クビアカ被害木など伐採を行った。 R6 【伐採数】 90本 【剪定数】 0本	B	計画した木の伐採をおこなった。	高木は、台風や強風により倒木などの危険が伴うため、公園維持管理業者に意見を聞きながら優先度の高い樹木を中心に、計画的に伐採を実施していく。	
100	⑥都市	緑地保全整備事業	緑のまち推進課	1-1, 1-3, 6-1, 7-1, 7-2, 7-4, 8-3	多々良保安林と堀工保安林の公益機能を効率的に発揮するため、適切な整備と保全管理を行う。	病害虫（松くい虫、カシノナガキクイムシ）防除及び保安林リフレッシュ事業等により適切な維持管理を行った。 【伐倒費】 7,832,000円 【樹幹注入費】 6,457,000円 ①松くい虫 【樹幹注入数】 287本 【伐倒数】 7本 ②カシノナガキクイムシ 【伐倒数】 34本	松くい虫対策として樹幹注入や伐倒、カシノナガキクイムシ対策として、伐倒を継続的に実施する。また、保安林リフレッシュ事業等で保安林を適切な維持管理をしていく。	病害虫（松くい虫、カシノナガキクイムシ）防除及び保安林リフレッシュ事業等により適切な維持管理をおこなった。 ①松くい虫 【樹幹注入数】 1,179本 【伐倒数】 7本 ②カシノナガキクイムシ 【伐倒数】 36本	A	・計画的に被害木の樹幹注入や伐採を行った。 ・保安林リフレッシュ事業を群馬県に申請して、堀工保安林の保全を図った。	松くい虫対策として樹幹注入や伐倒、カシノナガキクイムシ対策として、伐倒を継続的に実施する。また、保安林リフレッシュ事業等で保安林を適切な維持管理をしていく。	
101	⑥都市	土地区画整理事業（西部第一南地区）	区画整理課	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-2	土地利用増進を図るため、換地計画に基づき換地を行い、建物移転や道路築造工事を実施する。昭和61年度から令和15年度までの48年間で、総事業費は11,970,000千円。西部一号線などの都市計画道路の整備と宅地利用増進のため、土地の区画変更や公共施設の整備を計画的に行う。	令和5年度の成果 ■建物移転移転補償 ・令和5年度の実績 0戸0棟 ■仮換地指定件数 ・令和5年度の実績 0件 ■道路築造延長 ・令和5年度の実績 0m ■付保留地新規契約件数 ・令和5年度の実績 2件 ■土地区画整理法76条申請件数 ・令和5年度の実績 7件	早期の完成を目指す。 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	令和6年度の成果 ■建物移転移転補償 ・令和6年度の実績 0戸0棟 ■仮換地指定件数 ・令和6年度の実績 0件 ■道路築造延長 ・令和6年度の実績 48.9m ■付保留地新規契約件数 ・令和6年度の実績 3件 ■土地区画整理法76条申請件数 ・令和6年度の実績 20件	B	事業目標を概ね達成した	早期の完成を目指す。 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】社会資本整備総合交付金 【KPI】土地区画整理完了率
102	⑥都市	土地区画整理事業（西部第一中地区）	区画整理課	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-2	土地利用増進を目的に、換地計画に基づき換地、建物移転、道路築造工事を実施する。平成11年度から令和9年度までの39年間で、総事業費は11,970,000千円。館林駅の交通機能向上のため、西口駅前広場は平成31年度に完成。今後は宅地利用増進のため、土地の区画変更や公共施設の整備を計画的に行う。	令和5年度の成果 ■建物移転移転補償 ・令和5年度の実績 1戸5棟 ■仮換地指定件数 ・令和5年度時点 指定率100%達成 ■道路築造延長 ・令和5年度の実績 0.0m ■付保留地新規契約件数 ・令和5年度の実績 1件 ■土地区画整理法76条申請件数 ・令和5年度の実績 6件	早期の完成を目指す。 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	令和6年度の成果 ■建物移転移転補償 ・令和6年度の実績 0戸0棟 ■仮換地指定件数 ・平成23年度時点 指定率100%達成 ■道路築造延長 ・令和6年度の実績 55.4m ■付保留地新規契約件数 ・令和6年度の実績 2件 ■土地区画整理法76条申請件数 ・令和6年度の実績 1件	B	事業目標を概ね達成した	早期の完成を目指す。 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】社会資本整備総合交付金 【KPI】土地区画整理完了率
103	⑥都市	土地区画整理事業（西部第二地区）	区画整理課	1-1, 1-2, 2-2, 7-1, 7-2	土地利用増進を目的に、換地計画に基づき換地、建物移転、道路築造工事を実施する。平成24年9月24日から市施行による土地区画整理事業となり、平成11年度から令和14年度までの34年間で、総事業費は10,600,000千円。西部三号線などの都市計画道路の整備と宅地利用増進のため、土地の区画変更や公共施設の整備を計画的に行う。	令和5年度の成果 ■建物移転移転補償 ・令和5年度の実績 5戸6棟 ■仮換地指定件数 ・令和5年度の実績 0件 ■道路築造延長 ・令和5年度の実績 165m ■付保留地新規契約件数 ・令和5年度の実績 16件 ■土地区画整理法76条申請件数 ・令和5年度の実績 24件	早期の完成を目指す。 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	令和6年度の成果 ■建物移転移転補償 ・令和6年度の実績 5戸7棟 ■仮換地指定件数 ・令和6年度の実績 4件 ■道路築造延長 ・令和6年度の実績 135.5m ■付保留地新規契約件数 ・令和6年度の実績 5件 ■土地区画整理法76条申請件数 ・令和6年度の実績 19件	B	事業目標を概ね達成した	早期の完成を目指す。 ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	【重要事業】館林市第6次総合計画 【補助金・交付金】社会資本整備総合交付金 【KPI】土地区画整理完了率
104	⑥都市	遊休農地発生防止・解消事業	農業委員会事務局	1-3, 7-4, 8-4	農業委員・農地利用最適化推進委員による日常的なパトロールを実施し、農地所有者等へ農地の適正管理を指導するとともに農地の借り手の取り起こしを行う。	農業委員・農地利用最適化推進委員による農地パトロールの実施や利用状況調査を行い、遊休農地の所有者等へ利用意向を確認するとともに、農地の適正管理を指導した。	遊休農地の増加が予想される中、周辺農地の営農に悪影響を及ぼす恐れのある遊休農地になる前の段階での呼びかけや、農地パトロールによる早期発見に努めるとともに、農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進することによって遊休農地の解消に努める。	農業委員・農地利用最適化推進委員による農地パトロールの実施や利用状況調査を行い、遊休農地の所有者等へ利用意向を確認するとともに、農地の適正管理を指導した。	C	農作物価格の低迷・農業従事者の高齢化等に伴う離農農家の増加や後継者不足のほか、地理的悪条件などにより耕作されない農地が増加していることが考えられ、事業目標を下回ってしまっている状況となっている。	遊休農地の増加が予想される中、周辺農地の営農に悪影響を及ぼす恐れのある遊休農地になる前の段階での呼びかけや、農地パトロールによる早期発見に努めるとともに、農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進することによって遊休農地の解消に努める。	
105	⑥都市	農用地の利用集積と集団化事業	農業委員会事務局	7-4	農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸し手と借り手をマッチングし、農地中間管理機構を通して農地を担い手に集積・集約化（集団化）する。	地域の農業事情に精通した農業委員、農地利用最適化推進委員の知識や人脈を活かし、国、県が推進する農地中間管理機構を活用するとともに、担い手へ農地の集積・集約化を推進した。	農業委員、農地利用最適化推進委員の知識や人脈を活かし、農地中間管理機構を活用するとともに担い手へ農地の集積・集約化を推進した。	農業委員、農地利用最適化推進委員の知識や人脈を活かし、農地中間管理機構を活用するとともに担い手へ農地の集積・集約化を推進した。	B	農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進した。	農業委員、農地利用最適化推進委員の知識や人脈を活かし、農地中間管理機構を活用するとともに担い手へ農地の集積・集約化を推進する。	
106	⑥都市	農業用排水路整備・保全事業	ほ場整備課	1-3, 7-4	農業振興地域において、地元要望に基づき農業用排水路の整備と保全（維持管理）を行っている。	令和5年度 実績4件（用排水路4件）	更なる事業財源の確保を進め、整備を継続していく。	令和6年度 実績6件（用排水路6件）	B	農業振興地域において、地元要望に基づき農業用排水路等の整備と保全（維持管理）を行うことができた。	更なる事業財源の確保を進め、整備を継続していく。	
107	⑥都市	農道整備・保全事業	ほ場整備課	5-2, 7-4	農業振興地域において、地元要望に基づき農道の拡幅整備と保全（維持管理）を行う。	令和5年度 実績4件（農道4件）	更なる事業財源の確保を進め、整備を継続していく。	令和6年度 実績3件（農道3件）	B	農業振興地域において、地元要望に基づき農道の整備と保全（維持管理）を行うことができた。	更なる事業財源の確保を進め、整備を継続していく。	
108	⑥都市	遊水池維持管理事業	ほ場整備課	1-3, 5-2	国営事業により造成され移管された遊水池（早川田・仲伊谷田承水溝）において、貯水機能の保全（維持管理）を行う。	遊水池としての機能保全に努めた。	引き続き遊水池としての機能保全に努める。	遊水池としての機能保全に努めた。	B	国営事業により造成され移管された遊水池（早川田・仲伊谷田）において、貯水機能の保全（維持管理）を行うことができた。	引き続き遊水池としての機能保全に努める。	
109	⑥都市	農業生産基盤整備事業	ほ場整備課	5-2, 7-4	【野辺地区】 県営調査、地区界測量、経営体育促進遊換地等調整、土地改良区設立申請等手続き、換地業務、実施設計、 【大島地区】 県営調査 【木戸地区】 地元調整	【野辺地区】 県営ほ場整備事業 区画整理工 【大島地区】 県営調査 【木戸地区】 地元調整	【野辺地区】 県営ほ場整備事業 区画整理工 【大島地区】 県営調査 【木戸地区】 地元調整	【野辺地区】 県営ほ場整備事業 区画整理工 【大島地区】 県営調査 【木戸地区】 地元調整	B	野辺地区において、野辺土地改良区役員および各委員と協議を重ね、総会や説明会を通して地権者および耕作者の意見を反映させながら、第一期の区画整理工事に着手することができた。	【野辺地区】 県営ほ場整備事業 区画整理工 【大島地区】 県営調査 【木戸地区】 地元調整	【重要事業】館林市第6次総合計画
110	⑥都市	農地維持・資源向上の推進事業	ほ場整備課	1-3, 5-2, 7-4	農業振興地域で多面的機能支払交付金事業を活用し、地域活動を推進することで、農地の荒廃防止、農業施設の保全、地域資源の向上と担い手の育成を図る。	令和5年度活動組織数 15組織	活動組織の更なる活性化を進める。	令和6年度活動組織数 16組織	A	新規活動組織を1組織増やすことができた。	活動組織の更なる活性化を進める。	【KPI】多面的機能の維持・発揮が図られた農業集落数

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連 事型	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまっもの	③ R7アクションプラン	備考	
111	⑥都市	幹線農業水利施設改修事業	ほ場整備課	1-3, 7-4	国営附帯の県営事業として進められる幹線の排水水路等の改修において、関係機関としての事業負担を行い、事業進捗を図る。	令和5年度 実績3件 城沼水路地区・利根加用水2期地区・波良瀬川下流色菜頭首工地区	更なる事業進捗および県営事業の対象範囲の拡大を要請していく。	令和6年度 実績3件 城沼水路地区・利根加用水2期地区・波良瀬川下流色菜頭首工地区	B	関係機関としての事業負担を行い、事業進捗を図ることができた。	更なる事業進捗および県営事業の対象範囲の拡大を要請していく。	
112	⑦産業	つつじが岡公園管理事業	つつじのまち観光課	1-1, 1-4, 7-1, 7-2, 8-3	歴史ある観光型公園であるつつじが岡公園を、市民や観光客に利用してもらうため、維持・整備・管理・運営を行い、「つつじまつり」を開催して地元経済の活性化を図る。	・つつじが岡公園設備の保守点検、高木剪定等を実施し、四季を通じて愛される公園づくりに努めた。 ・つつじが岡公園再整備基本計画に基づき、サイクリングターミナル及び南側公園用地的整備を開始した。 ・園内でつつじまつりをはじめとする多様なイベントを開催するほか、官民連携でイベントを共催し、通年での誘客を図った。	公園施設の整備運営を進めて、つつじまつりの来園者増加を図るとともに、通年での誘客に努める。 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、旧秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備計画運用	サイクリングターミナルの改修工事を完了し、運用手続きを進めた。また、指定管理者及びPFP1運営者の公募を行い、整備を実施。園内ではつつじまつりなど多様なイベントを開催し、官民連携で通年の誘客を図った。	B	・サイクリングターミナルのリニューアルオープンと、南側公園用地にキャンプ・BBQ場を運用開始した。 ・つつじまつり花ハスマつりの他、多様なイベントを実施し、通年での誘客を図った。	公園施設の整備運営を進めて、つつじまつりの来園者増加を図るとともに、通年での誘客に努める。 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、旧秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備計画運用	【重要事業】館林市第6次総合計画
113	⑦産業	つつじ保護育成事業	つつじのまち観光課	1-1, 1-4, 7-1, 7-2, 8-3, 8-5	歴史ある観光型公園である国指定名勝「郷園ヶ岡」のつつじを保護育成し、後世に伝えるために丁寧な管理と調査を行い、その貴重さをPRする。	本市の財産であるつつじの保護育成のため、つつじの着花調査等を実施し、翌年の開花につなげた。	観光客に対する安全対策を図るため、名勝「郷園ヶ岡」保存活用計画の策定準備を行う。 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・ツツジ移植工事の実施	つつじの保護育成のため、各種調査や肥培管理を行うつつじの健全な育成に努め、翌年の開花につなげた。	B	つつじに関する各種調査や肥培管理を実施した。また、つつじ保護に関する啓発活動として子供園みや、出前講座など学校行事として市内小中学校の児童生徒に館林のつつじについて学びの場を設けた。	観光客に対する安全対策を図るため、名勝「郷園ヶ岡」保存活用計画の策定準備を行う。 ・つつじ保護育成対策委員会 ・つつじ後継木育成 ・つつじの着花に関する調査の実施 ・土壌分析業務の実施 ・ツツジ移植工事の実施	【重要事業】館林市第6次総合計画
114	⑦産業	観光宣伝事業（魅力あるお土産品創出事業）	つつじのまち観光課	8-5	館林市の観光協会や商工課、商工会議所と連携して、「おみたて」事業のブランドPRや販路拡大、新規認定品の増加を図る。	協会と連携した商品の掘り起こしや磨き上げ、多方面でのPRを継続実施した。	引き続き観光協会と連携し、土産品のブランド化と販路拡大を目指す。	観光協会や市内事業者と協力し、新規商品の開発や販路拡大に努めた。 ・R6にリニューアルオープンしたHOTEL KOMORINUにおいて、お土産品の取り扱いを開始した。	B	計画通り、商品の掘り起こしと、販路拡大に努めた。	引き続き観光協会や市内事業者と連携し、土産品のブランド化と販路拡大を目指す。	
115	⑦産業	観光宣伝事業（着地型旅行商品支援事業）	つつじのまち観光課	8-5	日本遺産「里沼」や「宇宙よりも遠い場所」のアニメーションを中心とした体験型観光を充実させ、観光コンテンツを増やして多様な旅行商品を提供する。	館林市日本遺産推進協議会・館林市観光協会と連携し、日本遺産「里沼」やアニメーションに関連した観光コンテンツの充実に向けた。	アフターコロナ期における、近距離圏内のマイクロツーリズム推進事業等の実施を通して、日本遺産「里沼」やアニメーションでの受入環境を整える。	・マイクロツーリズム推進事業等を活用し、旅行者等との連携により、新規旅行商品の提供を行った【R6実績】 ・東武鉄道、館林市地域食品産業協議会（市商工課）「子ども体験プログラム」 ・HOTEL KOMORINU「お花見プラン」	B	計画通り観光コンテンツの充実に向けた。	日本遺産推進協議会や観光協会、市内事業者等と連携し、日本遺産「里沼」やアニメーションでの受入環境を整える。	
116	⑦産業	つつじが岡ふれあいセンター運営事業	つつじのまち観光課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1, 8-3, 8-5	公園の通年誘客の核となる「つつじ映像学習館」と「売店」を運営し、団体受入可能な「フードコート」の施設管理運営業者と連携して、公園利用者を増やして、魅力向上を図る。	つつじ映像学習館及び公園内を利用し、体験型の謎解きイベントを小学生を対象として企画し、夏休み期間と冬休み期間に実施した。また、近隣施設との共通バスポートを販売することで、つつじまつり期間外の閑散期の入館者数の増加につなげた。	つつじ映像学習館のイベント事業として引き続き、謎解きイベント等を実施し、つつじまつり期間外の入館者数の増加を目指す。また、R5年4月より販売開始した共通バスポートのPRにより、近隣施設との周遊や相互の利用増進を図る。	・つつじ映像学習館においてイベント等を実施した。 ・共通バスポートの販売により、近隣施設との周遊や相互の利用増進を図った。 【R6実績】 ・夏イベント：里沼モンスタークエスト ・春イベント：ROBLOXタイムアタック を実施	B	計画通り、イベント開催と共通バスポートの販売を行った。	つつじ映像学習館においてイベント等を実施し、つつじまつり期間外の入館者数の増加を目指す。また、共通バスポートのPRにより、近隣施設との周遊や相互の利用増進を図る。	【重要事業】館林市第6次総合計画
117	⑦産業	商工総務（住宅リフォーム資金助成金・多世代同居支援助成金）	商工課	1-1, 1-2, 7-1, 7-2, 8-1, 8-2	住宅リフォーム資金助成金で市内経済を活性化し受注機会を確保し、移住定住支援リフォーム資金助成金で空家の有効活用を図り、多世代同居支援助成金で多世代同居を促進する。これらの助成金制度によって市内経済の活性化と移住定住の促進を図る。	老朽化した住環境の改善及び市内事業者の支援を行い地域経済循環を創出した。	・住宅リフォーム資金助成金 ・多世代同居支援助成金	老朽化した住環境の改善及び市内事業者の支援を行い地域経済循環を創出した。	B	市内事業者の仕事を生み出し、一定の経済効果を達成した。	・住宅リフォーム資金助成金	【重要事業】館林市第6次総合計画
118	⑦産業	制度資金の融資あっせん事業	商工課	5-1, 8-5	中小企業向けの制度融資を通して事業者の経営安定と活性化を図り、市内中小企業の振興に貢献する。また、経営安定資金や経営振興資金を利用した事業者や創業者に利子補給を行い、積極的な企業活動を支援する。	市内中小企業者への運転資金や設備導入資金の融資により、経営の安定が図られた。	経済状況を踏まえた制度の見直しを実施し、融資のあっせんを継続する。 ・小口資金保証料補助 ・商工業後継者育成利子補給 ・経営安定資金利子補給 ・経営振興資金利子補給 ・創業融資利子補給 ・マル経融資（小規模事業者経営改善資金）利子補給 ・小口資金融資預託 ・経営安定資金融資預託 ・経営振興資金融資預託 ・制度融資損失補償	市内中小企業者への運転資金や設備導入資金の融資により、経営の安定が図られた。	B	各種補助制度により、市内中小企業者の安定的な資金確保が図られた。	経済状況を踏まえた制度の見直しを実施し、融資のあっせんを継続する。 ・小口資金保証料補助 ・商工業後継者育成利子補給 ・経営安定資金利子補給 ・経営振興資金利子補給 ・創業融資利子補給 ・マル経融資（小規模事業者経営改善資金）利子補給 ・小口資金融資預託 ・経営安定資金融資預託 ・経営振興資金融資預託 ・制度融資損失補償	【重要事業】館林市第6次総合計画
119	⑦産業	金券発行事業	商工課	8-5	【館林市金券】※令和6年度から事業廃止 ・発行済み金券による市内循環金額（令和5年度換金額）19,693千円 【館林市デジタル地域通貨（愛称：ぼんちゃんPay）】 令和5年4月から運用を開始。各種補助金等の発行に加え、市内事業者支援・物産高騰による生活者支援を目的としたプレミアムキャンペーンを実施し（令和5年8月・令和6年1月）、事業の周知及び利用者数の拡大を図った。 （令和5年度利用額）666,809,961円	【館林市デジタル地域通貨（愛称：ぼんちゃんPay）】 令和5年4月から運用を開始。各種補助金等の発行に加え、市内事業者支援・物産高騰による生活者支援を目的としたプレミアムキャンペーンを実施し（令和5年8月・令和6年1月）、事業の周知及び利用者数の拡大を図った。 （令和5年度利用額）666,809,961円	・ぼんちゃんPayの利用拡大による地域内消費の促進及び市内事業者支援 ・取扱登録店舗数の増加による利用者の利便性向上 ・アプリ利用者向けの使いやすさの実施によるデジタル化に適合した人づくりの助成	【館林市デジタル地域通貨（愛称：ぼんちゃんPay）】 令和5年4月から運用を開始。各種補助金等の発行に加え、市内事業者支援・物産高騰による生活者支援を目的としたプレミアムキャンペーンを実施し（令和5年8月・令和6年1月）、事業の周知及び利用者数の拡大を図った。 （令和6年度利用額）365,336,148円	B	各キャンペーン実施に伴い、市内11公民館でのぼんちゃんPay使い内講座の開催、及びコールセンターの設置やセルフ銀行ATMでのチャージ操作案内係を配備したことにより、利用者へのサポート体制を確かなものとし、同キャンペーンへの参加を支援としたキャッシュレス決済の利用促進につながった。また、登録店舗数が300店舗を超え、11の公民館で利用できるようになった。	・ぼんちゃんPayの利用拡大による地域内消費の促進及び市内事業者支援 ・取扱登録店舗数の増加による利用者の利便性向上 ・アプリ利用者向けの使いやすさの実施によるデジタル化に適合した人づくりの助成	【重要事業】館林市第6次総合計画
120	⑦産業	地域活性化講演会事業	商工課	8-2, 8-3	・令和5年度地域活性化講演会 日時 令和6年2月21日(水)13:30～15:00 会場 群馬県立館林美術館（日向町2003） 演題 まちなか人と人をつなぐ まちなかのアシスタント「マテスタント」 講師 田中 隆太氏 参加者 24人	地域活性化講演会の開催	令和6年度地域活性化講演会 日時 令和7年2月19日(水)13:30～15:00 会場 中部公民館 第一研修室 演題 魅力のある地域づくり ～まち・人、お店をつなぐカ～ 講師 ナオナ氏 参加者 23名	B	アンケート調査では、内容に「満足」「やや満足」と回答した方は9割であった。	地域活性化講演会の開催		
121	⑦産業	初市・七夕祭り等の開催支援事業	商工課	8-3	・七夕まつり 来場者：約3万5千人 通常開催とし、事業やイベントを実施した。 ・初市 開催時間及び交通規制時間については、4年ぶりに新型コロナウイルス流行以前と同様（開催時間：8時45分まで/交通規制時間9時30分まで）としたが、会場については引き続き縮小規模のままで実施した。	・七夕まつりの開催 ・初市の開催	・七夕まつり 来場者：約3万5千人 豪雨の影響で5時半に中止となった。 ・初市 開催時間及び交通規制時間については、昨年と同様（開催時間：8時45分まで/交通規制時間9時30分まで）としたが、会場については引き続き縮小規模のままで実施した。	B	当日の会場には多くの来場者が訪れ、会場全体にぎわいをもたらしていた。	・七夕まつりの開催 ・初市の開催	【重要事業】館林市第6次総合計画	
122	⑦産業	創業塾の開催事業	商工課	8-2	創業前に創業計画書作成のポイントを学び、必要な知識を習得する支援を行う。また、空き店舗などの遊休不動産を活用する場合、改装費の一部を補助して初期費用を軽減する。基本編は創業に興味がある方を対象に年2回、応用編は具体的に希望する業種がある方を対象に年2回実施する。	【創業塾開催】 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回）	創業塾受講の新規創業者 平成29年度 5件 令和元年度 0件 令和2年度 2件 令和3年度 2件 令和4年度 3件 令和5年度 3件 令和6年度 3件	B	令和6年度は創業塾基本編を1回、応用編1回開催することができ、基本編では11人、応用編では7人の方が受講し、創業に対する具体的な計画目標を立てられている。	【創業塾開催】 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回）	【重要事業】館林市第6次総合計画	
123	⑦産業	雇用安定対策事業	商工課	8-2	地元企業ガイダンスやものづくりバスツアーで企業PRを行い、奨励金支給でUターン就職を促進。キャリア教育支援や職業訓練校への補助金で技術向上と人材育成を図り、就業支援事業を展開する。	・地元企業ガイダンス事業は、出張企業ガイダンスと企業PR動画作成の2本立てで開催。 ・各種奨励金は、障がい者雇用奨励金のような企業側が人材を受け入れにくい奨励金を除き、概ね好調に推移。 ・各高校へのキャリア教育支援は、各校で進路関連事業を外部委託する流れができておりセミナー等の要望はないため、企業ガイダンス事業の中で包含して行っている。	・市内企業ガイダンス事業（出張企業ガイダンス開催及びキャリア教育、企業紹介ガイドブック作成等） ・各種奨励金の支給	・地元企業ガイダンス事業は、出張企業ガイダンスと企業紹介ガイドブック作成の2本立てで開催。 ・各種奨励金は、障がい者雇用奨励金のような企業側が人材を受け入れにくい奨励金を除き、概ね好調に推移。 ・各高校へのキャリア教育支援は、各校で進路関連事業を外部委託する流れができておりセミナー等の要望はないため、企業ガイダンス事業の中で包含して行っている。	B	・企業ガイダンス事業により、市内企業と学生とのマッチングが図られている。 ・各種奨励金の活用により、労働力の確保と移住定住に一定の効果を上げている。	・市内企業ガイダンス事業（出張企業ガイダンス開催及びキャリア教育、館林市企業ガイダンス等） ・各種奨励金の支給	【重要事業】館林市第6次総合計画
124	⑦産業	勤労者金融対策事業（住宅）	商工課	8-4	市内に自己居住用の住宅建築（購入）、または土地を取得しようとする勤労者に対し、金融機関を通して融資するもの。	セーフティーネットの役割を果たしている。	勤労者住宅資金融資	セーフティーネットの役割を果たしている。	C	2件程度の新規利用を想定して予算を確保しているが、民間事業者の金融商品が充実しているため、こししばらく利用実績なし。	勤労者住宅資金融資	【重要事業】館林市第6次総合計画
125	⑦産業	勤労者金融対策事業（生活）	商工課	8-4	同一事業所に1年以上継続して勤務し、かつ1年以上市内に居住する勤労者に対し、医療費、冠婚葬祭費、災害復旧費等の生活資金を一時的に助けるもの。	セーフティーネットの役割を果たしている。	勤労者生活資金融資	セーフティーネットの役割を果たしている。	C	2件程度の新規利用を想定して予算を確保しているが、民間事業者の金融商品が充実しているため、こししばらく利用実績なし。	勤労者生活資金融資	【重要事業】館林市第6次総合計画
126	⑦産業	企業支援事業	商工課	5-1, 8-2, 8-5	団地内外の主要企業を定期訪問して要望把握と情報交換を行い、経営支援を実施。同意企業の情報を市ホームページでPRし受注機会を拡大。地域準則条例を周知し、土地の有効活用による建替えや増設を促進する。	企業訪問件数は横ばいである。	企業訪問件数の増加及び企業情報の発信機会の増大を目指す。 ・ビジネスマッチングフェアの開催 ・群馬県担当部局との連携 ・各種媒体による企業紹介 ・パンフレット、マップ作製 ・空き工場、用地等の情報収集 ・地域準則条例の相談、案内	企業訪問件数は横ばいである。	B	個別企業訪問に加え、企業団体への意見徴収を行うことで、企業抱えている問題やニーズの把握に繋がっている。	企業訪問件数の増加及び企業情報の発信機会の増大を目指す。 ・ビジネスマッチングフェアの開催 ・群馬県担当部局との連携 ・各種媒体による企業紹介 ・パンフレット、マップ作製 ・空き工場、用地等の情報収集 ・地域準則条例の相談、案内	【重要事業】館林市第6次総合計画
127	⑦産業	企業誘致支援事業	産業政策課	8-2	本市の優れた立地環境を東京圏の企業にアピールし、企業立地を推進する。新たな団地開発に合わせて、誘致に向けた優遇制度を検討する。	年間を通して、銀行やゼネコン等の企業訪問を実施し、新規産業団地のPRを行っている。	更なる事業効果を得るため、事業の精密等を進めつつ、現在進行している産業団地の造成に合わせてマッチングを行っていく。	進出確度が高い企業との協議を実施することができたが、企業訪問件数は減少していった。	B	企業との協議増加を目標としていたが、過年度より減少していった。	更なる事業効果を得るため、現在進行している産業団地の造成に合わせて進出希望企業とのマッチングを行っていく。	【重要事業】館林市第6次総合計画

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連事型	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A：事業目標を大きく上回ったもの B：事業目標を概ね達成したもの C：事業目標を下回ってしまったもの	R7アクションプラン	備考	
128	⑦産業	工業振興対策事業（地域産品）	商工課	8-5	人と食の出会いフェスタやままつりを開催し、技術革新や織物産業を補助金で支援。「おみたて」との統合でブランドリングを固く、東洋大学と連携し、館林地域の食品工場による製品販売を促進する。	市内企業の情報発信や製品開発の補助等を実施することで、市内企業の振興が図られている。	・人と食の出会いフェスタ開催委託 ・ままつり事業委託 ・創意工夫展開費負担金 ・ぐんま技術革新チャレンジ補助金 ・織物産業振興事業費補助金 ・展示会活用支援助成金 ・たてばやしブランド商品化支援補助金	市内企業の情報発信や製品開発の補助等を実施することで、市内企業の振興が図られている。	B	産業祭において館林地域で操業している食品製造企業等のPRを行った。 新製品の開発に際し、各種補助金による支援を行った。 展示会活用支援助成金により、企業の販路拡大を支援した。	・人と食の出会いフェスタ開催委託 ・ままつり事業委託 ・創意工夫展開費負担金 ・ぐんま技術革新チャレンジ補助金 ・織物産業振興事業費補助金 ・展示会活用支援助成金 ・たてばやしブランド商品化支援補助金	【重要事業】館林市第6次総合計画
129	⑦産業	工業振興対策事業	商工課	8-5	館林地域における工場見学バスツアー	館林地域における食品産業の歴史を学ぶとともに、市内立地工場の取り組みや最新設備に触れることで、食品産業に対する市民の理解が深まっている。	・工場見学バスツアーの開催	館林地域における食品産業の歴史を学ぶとともに、市内立地工場の取り組みや最新設備に触れることで、食品産業に対する市民の理解が深まっている。	B	工場見学を通じて、ふるさとの食文化や産業について学ぶことができた。	・工場見学バスツアーの開催	【重要事業】館林市第6次総合計画
130	⑦産業	畜産振興対策事業	農業振興課	2-4, 7-4, 8-5	館林市家畜自衛防疫協議会が事業主体となり、主要な法定伝染病を予防するために予防接種への定額補助金50,000円を提供し、家畜伝染病の発生を未然に防止している。	予防接種に対する助成を行うことで、伝染病の発生を防止することができた。	引続き、家畜伝染病の発生防止に努める。	予防接種に対する助成を行うことで、伝染病の発生を防止することができた。	B	計画通り法定伝染病（アカバネ病）の予防接種を行った（5頭）。	引続き、家畜伝染病の発生防止に努める。	【重要事業】館林市第6次総合計画
131	⑦産業	新規就農支援事業	農業振興課	7-4	新規就農者の経費を最大3年間補助し、収入が不安定な独立当初を支援する（農家子弟は除く）。1年目は経費の70%（上限50万円）、2年目は50%（上限30万円）、3年目は30%（上限20万円）を補助する。また、新規就農を目指す者には研修支援として、月額3万円（定額）を最長10ヶ月間支給する。	邑楽館林管内1市5町と邑楽館林農業協同組合で構成する「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を設置し、新規就農を目指す者を関係機関が連携して支援している。	独立新規就農者の営業に要する経費へ補助を行う。各関係機関と連携し、継続的に新規就農者に対して、経費や研修の支援を行っていく。	邑楽館林管内1市5町と邑楽館林農業協同組合で構成する「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を設置し、新規就農を目指す者を関係機関が連携して支援している。	B	独立新規就農者の営業に要する経費へ補助を行った（1年目2件、2年目2件）。	独立新規就農者の営業に要する経費へ補助を行う。各関係機関と連携し、継続的に新規就農者に対して、経費や研修の支援を行っていく。	【重要事業】館林市第6次総合計画
132	⑦産業	担い手育成支援事業	農業振興課	7-4	認定農業者を対象に農業用機械導入の経費を一部支援する。具体的には、4条刈り以上のコンバインは経費の3/10（上限150万円）、4条挿入以上の田植機は経費の3/10（上限100万円）を補助する。また、園芸施設支援事業では、前用年5年以上のハウス被覆材の整備にかかる経費を1回限りで補助し、経費の1/10（上限5万円）を支援する。	ハウスの被覆材張替への支援を行うことで、農業者の導入経費の負担軽減及び自然災害に強い施設園芸づくりに取り組むことができていく。また、高性能の大型機械を導入し、農作業の省力化・効率化に取組む農業者に対し、その導入経費の一部を補助した。	市内の認定農業者を対象に営業状況を確認し、施設整備等に要する経費の一部を支援する。農業用機械導入時の支援及び園芸振興を図り、担い手を育成する。	ハウスの被覆材張替への支援を行うことで、農業者の導入経費の負担軽減及び自然災害に強い施設園芸づくりに取り組むことができていく。また、高性能の大型機械を導入し、農作業の省力化・効率化に取組む農業者に対し、その導入経費の一部を補助した。	B	営業意欲のある農業者に対し、農業用施設や機械等の導入支援を行った。 ハウス被覆材張替支援 4件 農業用機械導入支援（コンバイン1件、田植機2件）3件	市内の認定農業者を対象に営業状況を確認し、施設整備等に要する経費の一部を支援する。農業用機械導入時の支援及び園芸振興を図り、担い手を育成する。	【重要事業】館林市第6次総合計画
133	⑦産業	農商工連携推進事業	農業振興課	7-4, 8-5	農商工連携によるブランド化関連の作業や機械・設備導入にかかると経費を補助し、取組者の負担を軽減してブランド化を支援する。補助率は10/10で、上限は35万円または25万円。	農産物を加工し販売するための設備導入経費等を支援した。農商工連携や6次産業化は農産物の加工工程を扱うことから、災害時には取り組むことが困難である。	農商工連携や6次産業化の取組みによる農産物のブランド化のための機械・設備導入の経費を支援する。他事業と比較した時に、災害時に農産物のブランド化を推進することは、全体の優先順位としては低い事業目上に伴い、令和3年度及び令和4年度から	農産物を加工し販売するための設備導入経費等を支援した。農商工連携や6次産業化は農産物の加工工程を扱うことから、災害時には取り組むことが困難である。	B	・有機農業 地場野菜の販売に関するオリジナルパッケージの作成 ・有機農産物の加工・JASの取得 ・商品のパッケージ化 いづれも商品付加価値の向上に資する取組である。合計3件	農商工連携や6次産業化の取組みによる農産物のブランド化のための機械・設備導入の経費を支援する。他事業と比較した時に、災害時に農産物のブランド化を推進することは、全体の優先順位としては低い	【重要事業】館林市第6次総合計画
134	⑦産業	農業後継者の支援事業	農業委員会事務局	7-4	新規就農者に奨励金を交付し、初期投資を支援し、研修会で技術と経営ノウハウの向上を図り、出会いの場を提供して交流と協力を促進する。さらに、健康で幸福な農村生活を推進し、地域の活力を高め、持続可能な農業の実現を図る。	農家の子弟等が学卒後の就職先として、あるいは転職先として、農業を選択したことにより就農奨励金を交付した。	農業委員会が就農希望者と農地所有者との橋渡し活動や持続可能な農業経営を確立するための相談活動を行う。	農家の子弟等が学卒後の就職先として、あるいは転職先として、農業を選択したことにより就農奨励金を交付した。	B	新規就農者へ就農奨励金を交付した。 各種研修会や団体への助成などは実施できたが、農業後継者への出会いの場については、応募者が少なかったため設けることができなかった。	農業委員会が就農希望者と農地所有者との橋渡し活動や持続可能な農業経営を確立するための相談活動を行う。	【重要事業】館林市第6次総合計画
135	⑧行政機能	ふるさと納税事業	企画課	8-5	寄附を通して自治体を応援し、そのお礼として特産品を贈ることでPRを促進し、自主財源を確保するとともに、特産品の寄附や販路拡大を通じて地場産業の振興を図る。	ふるさと納税ポータルサイトを5つから3つ追加し、8つとした。	・さらなるポータルサイトの追加 ・新たな返礼品の発掘	ふるさと納税ポータルサイトを8つから4つ追加し、全12種類とした。	B	前年対比寄附金額108.8%となり、初めて寄附額が200,000,000円を上回った。	・さらなるポータルサイトの追加 ・新たな返礼品の発掘	【重要事業】館林市第6次総合計画
136	⑧行政機能	渡良瀬川・利根川への架橋に関する要望事業	企画課	1-1, 1-2, 1-3, 2-2, 2-3, 5-1, 6-4, 7-2	災害時の避難路確保のため、群馬県、栃木県、埼玉県への架橋を要望する活動を実施し、渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会への負担金を支払い、協議会事業として3県への要望活動を行う。	12月に群馬県、1月に栃木県、埼玉県に対し要望活動を実施した。また、研究会を2度開催した。	渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の要望活動を継続し、各県の道路整備計画へ反映させる。	12月に群馬県、栃木県、1月に埼玉県に対し要望活動を実施した。また、研究会を2度開催した。	B	構想図データの更新を実施した。 令和5年度より作成を進める報告書の「概要版」が完成した。	渡良瀬川及び利根川架橋促進協議会の要望活動を継続し、各県の道路整備計画へ反映させる。	【重要事業】館林市第6次総合計画
137	⑧行政機能	ICT部門における業務継続体制の整備事業	企画課	3-1, 4-1	災害時においても重要システムに依存する業務が継続できるような重要システムの業務継続を阻害する要因（脆弱性）の評価、脆弱性解消対策の実施状況確認及び脆弱性の解消に向けた体制の見直しを行う。	業務継続計画（ICT-BCP）の策定は、未実施。 令和2年度よりテレワークシステムの利用開始。令和3年度は、市庁舎フリーWi-Fiの導入（災害時に制限ないインターネット接続が可能）。令和5年度には、職員用PCをノートPC変更し、LoGoチャットを試験導入しスマートフォンでのセキュリティを担保した連絡手段の確保と災害時に業務可能な体制を強化した。	ICT部門の業務継続計画（ICT-BCP）の策定を検討する。行政機能や情報伝達手段を確保できるような手法や代替手段を確立する。令和5年度は、職員用PCをノートPC変更し待機電力での業務継続可能とした。 令和6年度は、LoGoチャットを本格導入し、スマートフォンでセキュリティを担保した災害時を含む連絡手段の確保や庁内イントラWi-Fiの導入により災害時に業務可能な体制を強化した。	B	ICT部門の業務継続計画（ICT-BCP）の策定を検討する。行政機能や情報伝達手段を確保できるような手法や代替手段を確立する。職員用チャットツール（LoGoチャット）の活用や自治体情報システム標準化・共通化に合わせたノートPCに全台切り替え、併せてシステム面の災害対策強化を実施する。	ICT部門の業務継続計画（ICT-BCP）の策定を検討する。	【重要事業】館林市第6次総合計画	
138	⑧行政機能	公有財産管理事業	財政課	2-2	公共施設の老朽化や人口減少に対応するため、施設管理手法を見直し、ストックマネジメントを活用して施設の長寿命化、更新、統廃合を計画的に行う。また、市有地の適正管理及有効活用を図る。	・公共施設等総合管理計画の推進 ・公有財産台帳管理システムの運用 ・市有地（普通財産）適正管理 ・施設（建物）維持管理 ・市有地有効活用	・公共施設等総合管理計画の推進 ・公有財産台帳管理システムの運用 ・市有地（普通財産）適正管理 ・施設（建物）維持管理 ・市有地有効活用	B	・公共施設等総合管理計画の推進 ・公有財産台帳管理システムの運用 ・市有地（普通財産）適正管理 ・施設（建物）維持管理 ・市有地有効活用	【重要事業】館林市第6次総合計画		
139	⑧行政機能	市庁舎の維持管理事業	財政課	3-1, 4-1	市庁舎の保守点検業務及び補修箇所の早期発見・早期対応を実施する。	・R5 エレベーター（1号機・2号機）の改修	・R6 エレベーター（議会棟3号機）の改修	・R6 エレベーター（議会棟3号機）の改修	B	・R7 空調設備（主に執務室）の改修 ・R8 空調設備（主に執務室）の改修	【重要事業】館林市第6次総合計画	
140	⑧行政機能	広聴広報事業	秘書課	4-1, 8-5	毎月1日に広報紙を企画・発行し、市公式ホームページを運用する。各課からの情報伝達要請に応じてホームページに情報を掲載する。また、ケータイテレビと協定のに基づき、大規模災害時にはFM放送を通じて市民に情報提供を行う。	広報紙で緊急時の情報収集手段を周知した他、常日頃からホームページやXなどで情報発信を行い、情報収集のツールとしての認識を高めた。 災害時の臨時災害放送局開設がスムーズに行われるよう、年に1度の機材保守点検に合わせ設備の設置訓練を行った。	・広報紙の企画発行 ・市ホームページの運用 ・市公式X（旧ツイッター）の運用 ・災害時における正確な情報収集と適切な情報発信訓練を行った。	B	係員一人一人がホームページやXの操作方法を熟知し、有事の際の役割を認識している。	・広報紙の企画発行 ・市ホームページの運用 ・市公式Xの運用 ・災害時における正確な情報収集と適切な情報発信訓練を行った。	【重要事業】館林市第6次総合計画	
141	⑧行政機能	区長協議会事業	行政課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	地域コミュニティ活動における自治意識向上のために定例会、理事会、視察研修等の実施。	地域活動の担い手不足が課題である。	区長同士の繋がりを深め、地域課題の解決に向けた協議を進める。	地域活動の担い手不足が課題である。	B	定例会・理事会での意見交換や、視察研修により、区長同士の繋がりを深めた。 外部講師を招いて、地域の課題解決に向けた研修を行った。	区長同士の繋がりを深め、地域課題の解決に向けた協議を進める。	【重要事業】館林市第6次総合計画
142	⑧行政機能	次世代を担う地域リーダー育成事業	行政課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	地域活動の現状や様々な情報を提供するための各種講座の実施。	地域活動の担い手不足解消の一助となっている。	講座内容を工夫しながら、区長推薦により参加者を広げる。	地域活動の担い手不足解消の一助となっている。	B	年4回の講座を開催した。	講座内容を工夫しながら、区長推薦により参加者を広げる。	【重要事業】館林市第6次総合計画
143	⑧行政機能	行政区への助成金事業	行政課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	地域活動の活性化及び地域課題解決のため、行政区に対し助成金を交付。	行政区の活性化により地域コミュニティの強化が図られている。	事業内容を充実させることにより、さらなる地域力向上を図る。	行政区の活性化により地域コミュニティの強化が図られている。	B	各行政区における実施事業の充実が図られるよう支援を進めている。	事業内容を充実させることにより、さらなる地域力向上を図る。	【重要事業】館林市第6次総合計画
144	⑧行政機能	一区一彩事業	行政課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	地域力向上を目的とした区民総参加の事業に対し、助成金を交付。	各種事業を実施することにより、住民の連帯意識の向上に寄与している。	事業内容の充実及び実施行政区の拡大を図る。	各種事業を実施することにより、住民の連帯意識の向上に寄与している。	B	行政区からの申請数が過去最高となり、事業の推進が図られた。	事業内容の充実及び実施行政区の拡大を図る。	【重要事業】館林市第6次総合計画
145	⑧行政機能	戸籍事務事業	市民課	3-1	戸籍の完全な滅失の防止として、全国に2か所の管理センター設置（平成25年9月～）	副本データシステムは、被災した戸籍情報システムの迅速な復旧が可能である。	緊急時において適正な運用が持続するよう管理する。	副本データシステムは、被災した戸籍情報システムの迅速な復旧が可能である。	B	緊急時において適正な運用が持続するよう管理する。	【重要事業】館林市第6次総合計画	
146	⑧行政機能	市民活動啓発事業	共生社会推進課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	市民協働の重要性を啓発し、まちづくりに貢献する人材を育成するため、ボランティアやNPO、市民活動団体を支援する。	パネル展示や体験会等を通して、参加者に市民活動に関する情報や交流の機会を提供した。市民活動推進事業補助金を利用した積極的な市民活動の取り組み事例があった。	市民協働の必要性を周知しながら、市民活動を担う人材の発掘・育成及び団体の自立化を図る。 ・NPO支援事業 ・NPO相談 ・市民活動推進事業補助金 ・まちづくりセミナー ・市民活動団体交流会	パネル展示や体験会等を通して、参加者に市民活動に関する情報や交流の機会を提供した。市民活動推進事業補助金を利用した積極的な市民活動の取り組み事例があった。	B	NPO活動をパネル展示や体験ブース等の設置により、市民活動に関する情報の発信や交流を促すことができた。市民活動推進事業補助金の利用により様々な分野の市民活動を推進した。	市民協働の必要性を周知しながら、市民活動を担う人材の発掘・育成及び団体の自立化を図る。 ・NPO支援事業 ・NPO相談 ・市民活動推進事業補助金 ・まちづくりセミナー ・市民活動団体交流会	【重要事業】館林市第6次総合計画
147	⑧行政機能	市民活動に係る人材の発掘・育成及び団体の自立化事業	共生社会推進課	1-1, 1-2, 1-3, 4-1	市民協働の情報提供や学習、交流の機会を提供し、市民活動推進事業補助金を交付する。また、市民活動に関する講演会や出前講座を実施し、NPO支援事業や相談、市民活動推進事業補助金、まちづくりセミナー、市民活動団体交流会を行う。	パネル展示や体験会等を通して、参加者に市民活動に関する情報や交流の機会を提供した。市民活動推進事業補助金を利用した積極的な市民活動の取り組み事例があった。	市民協働の必要性を周知しながら、市民活動を担う人材の発掘・育成及び団体の自立化を図る。 ・NPO支援事業 ・NPO相談 ・市民活動推進事業補助金 ・まちづくりセミナー ・市民活動団体交流会	パネル展示や体験会等を通して、参加者に市民活動に関する情報や交流の機会を提供した。市民活動推進事業補助金を利用した積極的な市民活動の取り組み事例があった。	B	NPO活動をパネル展示や体験ブース等の設置により、市民活動に関する情報の発信や交流を促すことができた。市民活動推進事業補助金の利用により様々な分野の市民活動を推進した。	市民協働の必要性を周知しながら、市民活動を担う人材の発掘・育成及び団体の自立化を図る。 ・NPO支援事業 ・NPO相談 ・市民活動推進事業補助金 ・まちづくりセミナー ・市民活動団体交流会	【重要事業】館林市第6次総合計画
148	⑧行政機能	男女共同参画基本計画推進事業	共生社会推進課	8-2	男女共同参画社会実現のため、市民へ広く啓発を行い男女共同参画意識の向上を図る。基本計画を策定し、市の施策が総合かつ計画的に推進されるよう計画的な進行管理を行う。	セミナーやパネル展示の開催、情報紙の発行などを通して、市民へ広く啓発を行い男女共同参画の意識向上を図った。	引き続き、計画的な進行管理及び男女共同参画意識啓発を行っていく。 ・第6次計画的な進行管理 ・男女共同参画啓発 ・情報紙・講演会・講座等の開催 ・一行詩募集・パネル展示	出前講座やパネル展示の開催、情報紙の発行などを通して、市民へ広く啓発を行い、男女共同参画の意識向上を図った。	B	出前講座やパネル展示、情報紙の発行を通じ、男女共同参画社会実現のための啓発を行った。また、一行詩コンクールを実施し、小中高生が男女共同参画について考えることができた。	引き続き、計画的な進行管理及び男女共同参画意識啓発を行っていく。 ・第6次計画的な進行管理 ・男女共同参画啓発 ・情報紙・講演会・講座等の開催 ・パネル展示	【重要事業】館林市第6次総合計画
149	⑧行政機能	審議会等で活躍できる女性の育成事業	共生社会推進課	8-2	毎年、審議会等における女性の登用率を調査し、意思決定の場での女性の活躍を推進するために啓発活動を行う。また、人材育成と活躍しやすい環境づくりを進め、令和3年度までに女性登用率を35%以上にすることを目標とする。	情報紙の発行などを通して、女性の活躍推進のための啓発を図った。 また、講座等を通して、人材育成及び活躍しやすい環境づくりを行った。 しかしながら、令和5年度の審議会の女性登用率は、25.9%と目標達成には至っていない。	引き続き、審議会等における女性の登用率について調査を行う。女性の参画拡大のため啓発を行うとともに、人材育成及び活躍しやすい環境づくりを進める。	情報紙の発行などを通して、男女共同参画審議会委員の募集を呼びかけ、女性の活躍推進のための啓発を図った。また、女性リーダー育成の理解を促すために男子高校生に出前講座を実施した。 しかしながら、令和5年度の審議会の女性登用率は、24.5%と令和5年度よりも低下し、目標達成には至っていない。	B	市民向け情報紙による周知や登用率の調査結果を全国的に公表し、女性委員の登用について意識付けができた。	引き続き、審議会等における女性の登用率について調査を行う。女性の参画拡大のため啓発を行うとともに、人材育成及び活躍しやすい環境づくりを進める。	【重要事業】館林市第6次総合計画

No.	施策の区分	事業名	担当課	関連事態	事業の概要	R5までの取組結果	R6アクションプラン	① R6までの取組結果	② 進捗状況 A: 事業目標を大きく上回ったもの B: 事業目標を概ね達成したもの C: 事業目標を下回ってしまったもの	③ R7アクションプラン	備考
150	⑧行政機能	男女共同参画普及啓発推進事業	共生社会推進課	8-2	審議会等における女性の登用率を調査し、意思決定の場での女性の活躍を推進するために啓発活動を行う。女性の登用率の目標は令和3年度までに35%以上とする。また、男女共同参画社会の実現を目指す。市民への啓発を通じて男女共同参画意識の向上を図る。	セミナーや講演会の開催、情報紙の発行などを通して、市民へ広く啓発を行い男女共同参画の意識向上を図った。しかしながら、令和5年度の審議会の女性登用率は、25.9%と目標達成には至っていない。	引き続き、審議会等における女性の登用率について調査を行い、女性の参画拡大のため啓発を行う。男女共同参画啓発事業を通し、男女共同参画意識のさらなる向上を目指す。 ・男女共同参画啓発 ・情報紙・講演会・講座等の開催 ・一行詩募集・パネル展示	情報紙の発行などを通して、男女共同参画審議会委員の募集呼びかけ、女性の活躍推進のため啓発を図った。また、女性リーダー育成の理解を促すために男子高校にて出前講座を実施した。しかしながら、令和6年度の審議会の女性登用率は、24.5%と令和5年度よりも低下し、目標達成には至っていない。	B 情報紙の発行、出前講座の実施を通して、幅広い世代へ男女共同参画について啓発を行うことができた。	引き続き、審議会等における女性の登用率について調査を行い、女性の参画拡大のため啓発を行う。男女共同参画啓発事業を通し、男女共同参画意識のさらなる向上を目指す。 ・男女共同参画啓発 ・情報紙・講演会・講座等の開催 ・パネル展示	【重要事業】館林市第6次総合計画
151	⑧行政機能	応急対策物資購入マニュアル策定事業	出納室	3-1	平常時の物品購入手続きを省略し、事務処理を簡略化することで、災害時において必要な物品を早期に調達できるように、関連する課と連携して対応する。	マニュアル策定に向け財政課をはじめとした関連各課との協議は実施されていない。	応急対策物資購入マニュアルの作成に向け、財政課等と協議する。	マニュアル策定に向け財政課をはじめとした関連各課との協議は実施されていない。	C マニュアル未策定	応急対策物資購入マニュアルの作成に向け、財政課等と協議する。	